

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592007501	科目番号 / Course code	05920075
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B1日本のことばの多様性 / Linguistic diversity in Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原田 走一郎 / Soichiro Harada, 高城 隆一		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原田 走一郎 / Soichiro Harada, 高城 隆一		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	haradaso▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総研棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約をとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本に存在する言語的多様性について理解する。		
授業到達目標/Course goals	日本の言語的多様性について理解することができるようになる。 日本語の特徴を理解することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	10点の課題×6 最終試験40点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本講義では事前学習を重視する。事前学習として問題を解いてきて、その情報を他の学生と共有しながら授業を進める。そのため、事前学習を行っていない学生がいると、他の学生の迷惑になる。(4h)		
キーワード/Keywords	言語学、方言学		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> 松丸真大・白岩広行・原田走一郎・平塚雄亮『ワークブック 方言で考える日本語学』くろしお出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面での実施。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション (対面)
2	琉球諸語 (対面)
3	音声・音韻の多様性1 (対面)
4	音声・音韻の多様性2 (対面)
5	形態素 (対面)
6	語 (対面)
7	文・格からみる多様性 (対面)
8	複文の多様性 (対面)
9	活用の多様性 (対面)
10	表現の多様性1 (対面)
11	表現の多様性2 (対面)
12	表現の多様性3 (対面)
13	待遇表現 (対面)
14	語彙 (対面)
15	アイヌ語 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592008701	科目番号 / Course code	05920087
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●B1社会学から見る日本と世界 / Japan and the world seen from sociological perspectives		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	寺田 晋		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	寺田 晋		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	寺田 晋		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学・歯学・情報データ・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuniyuki.terada▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2921		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問がある場合はEメールで事前に日時を相談してください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業では、多文化社会の成り立ちや多文化社会が抱える課題について基礎的な知識を学ぶとともに、多文化社会をめぐる議論を読み解くリテラシーを習得していきます。ニュースで使われる簡単な言葉の意味を考えたり、基本的なデータから読み取れることを議論したりすることからはじめて、少しずつ、より専門的な社会的なものの方の見方、問い、分析の特徴を理解していきます。最終的には、社会的な観点から多文化社会が抱える課題について適切な問いを立てられるようになることを目指します。		
授業到達目標 / Course goals	・多文化社会の成り立ちや課題に関する基礎知識とリテラシーにもとづいて、明らかに間違った情報や偏見を指摘できるようになる。(DP-1) ・社会学の特徴を理解し、社会的なアプローチに適した問いとはどのような問いなのかを自分の言葉で説明できるようになる。(DP-3)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の発言・課題への取り組み・コメントシートの内容(40点) + 最終レポート(60点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	【予習】LACSにある資料を読み、知らない言葉の意味を調べ、疑問点をまとめておくこと。(2h) 【復習】講義の内容をまとめ、自分の言葉で説明できるようにすること。(2h)		
キーワード / Keywords	移民、難民、民族・エスニシティ、多文化主義、グローバル化		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業中に適宜指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で行う。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	イントロダクション：情報の信頼性を判断する（対面）
第3-4回	多文化社会：数字から見えるものと見えないもの（対面）
第5-6回	さまざまな多様性：過去と現在の比較（対面）
第7-8回	さまざまな多様性：日本とヨーロッパの比較（対面）
第9-10回	社会統合政策の国際比較（対面）
第11-12回	異文化に対する態度：寛容と排外（対面）
第13-14回	セグリゲーションの社会学（対面）
第15回	授業のまとめとディスカッション（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586026501	科目番号 / Course code	05860265
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14511_005		
授業科目名 / Course title	●B2社会とマスメディア / Role of Mass Media in Modern Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	言葉や映像・画像を活用して社会に情報発信する新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット等のマスメディアを取り上げる。マスメディアが情報を伝えるためにどのような表現の工夫をしているかを理解するとともに、それらを批判的に受け取り論理的に考える態度の育成を図る。また、メディアが多様化がする中でソーシャルメディアなど自らの情報発信において、マスメディアが行っているスキルを活用することを目指す。		
授業到達目標/Course goals	(1)マスメディアが、社会の事象をどのように取り上げ、どのように表現の工夫をしているかを理解することができるようになる。 (2)多様なメディアからの発信を、私たちはどのように受信すれば良いかを理解することができるようになる。 (3)自己の意見を持ち、それを相手に向けてどのように発信すれば良いかを理解し、実践できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	リポート課題(5点×8回)+予習・復習課題(10点+15点)+グループワーク・プレゼンテーション課題(15点)+最終リポート課題(15点)+授業への取り組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題としてワークシートや資料、プレゼン資料等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けた課題としてリポートや企画案等を作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	マスメディア、オウンドメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット、批判的思考、論理的思考、自己表現		
教科書・教材・参考書/Materials	新聞、書籍、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネットなど、身近なマスメディア。 必要に応じた新聞や雑誌の記事や番組などの資料をLACSに掲載。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。 グループメンバーとの協働に積極的に係る姿勢があること。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考/Remarks	マスメディア各社から現役の記者やディレクターなどを招聘。ゲストの日程調整により、授業計画の順番が前後する可能性があります。最終確定した授業計画内容は初回のオリエンテーションで説明します。	
学生へのメッセージ/Message for students	現在、そして将来の「社会」を作っているのは私たち一人一人です。本モジュールでは、異なる意見や視点を持った私たちが、社会という“公”の中で“個”としてどうやって生きていくのか、マスメディアを題材にして考えます。 マスメディアが公的な情報をどのようにして発信しているのか、現在、放送局や新聞社の記者やディレクターとして活躍中の現場の方々にご指導いただく機会を設ける予定です。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香 /日本放送協会(NHK)アナウンスでのニュース・報道番組キャスター歴17年を経て現職。 日本放送協会(NHK)・日本テレビ(NTV)系列局という公共放送・民間放送の両方での勤務経験があるほか、商業出版や新聞・雑誌での連載など、現在もマスメディアに関わっている。その実務経験を生かし情報制作者側の意図について解説しながら、学生のメディアリテラシー習得を目指す。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	11月28日（木）対面 オリエンテーション	B
第2回	11月28日（木）対面 学生生活とメディア	A B
第3回	12月5日（木）対面 多様なメディア	A B
第4回	12月5日（木）対面 新聞・雑誌	B D
第5回	12月12日（木）対面 ラジオ・テレビ	A B
第6回	12月12日（木）対面 ニュース報道 公共放送	A B
第7回	12月19日（木）対面 テレビ番組制作 民間放送	A B
第8回	12月19日（木）対面 オウンドメディア	B D
第9回	1月9日（木）対面 ソーシャルメディア	B
第10回	1月9日（木）対面 メディアにおける情報の伝え方：わかりやすく・正しく伝えるために	B C
第11回	1月16日（木）対面 情報発信実践	B C D
第12回	1月16日（木）対面 情報発信実践	B C D
第13回	1月23日（木）オンライン 未来のメディア	B C

第14回	1月23日（木）オンライン	B
	未来のメディア	C
第15回	2月6日（木）対面	B
	まとめ	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586026701	科目番号 / Course code	05860267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14531_005		
授業科目名 / Course title	●B2心と社会 / Mind and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する ▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育実践研究棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の昼休み、もしくは木曜日の3限。その他の時間でも可能な限り対応しますが、まずはメールで連絡をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	臨床心理学の視点から、言葉の果たす役割とコミュニケーションへの理解を深める。また、社会の一員として人々の多様性を理解し、アサーティブに自己を表現する方法や適切に相談する意義を理解する。		
授業到達目標/Course goals	○コミュニケーションを支える言葉の意義を理解することが出来るようになる。 ○様々な対人関係の困難を理解し、適切な相談の意義や役割を理解することが出来るようになる。 ○多様な表現を使って、適切なコミュニケーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業時の実習あるいは事後の振り返り(グーグルフォーム等を用いる): 45% グループでの活動の成果: 30% まとめのレポート: 25% 総合して60%以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前) 授業に使用するプリントを印刷し、内容を確認し、不明な用語などを調べます(2h) (事後) 講義内容に関連した新聞記事等を読み、講義内容を振り返ります(2h)		
キーワード/Keywords	カウンセリング、他者理解、自己受容		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。授業前にLACS上に資料を掲示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	グループワークや演習を多用します。感染拡大等により指示がない限り授業は対面で行います。	
学生へのメッセージ/Message for students	心理学や教育学は、一部の人にだけ役立つような内容ではありません。私たちの生活は、人との関わりなしには成り立ちません。私たちは知らず知らずのうちに人に育てられ、人を育てていくのです。そのことを意識し、何気ない関わりを大切に出来るような対人関係の素地づくりをしていきたいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県教育委員会スクールカウンセラー、スクールカウンセラースーパーバイザー	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション (対面)	B
第2回	自己紹介・他者理解 (対面)	A B
第3回	構成的グループエンカウンター1 (対面)	B C
第4回	構成的グループエンカウンター2 (対面)	B C
第5回	前回の振り返り (対面)	A B
第6回	こころの発達について (対面)	A B
第7回	いろいろなコミュニケーション 言語・非言語 (対面)	A C
第8回	傾聴訓練 (対面)	B C
第9回	対人関係の困難について1 (対面)	A B
第10回	対人関係の困難について2 (対面)	C D
第11回	グループワーク1 問題の発見及び調査方法の検討 (対面)	A B
第12回	グループワーク2 内容に関してのグループディスカッション (対面)	B D
第13回	発表1 (対面)	A B
第14回	発表2 (対面)	A B
第15回	授業の総括 (対面)	A D
第16回	まとめのレポート (各自提出)	A D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586019701	科目番号 / Course code	05860197
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12511_005		
授業科目名 / Course title	●B3文化と社会 / Culture and Society (Literature Philosophy History and so on)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田口 由香 / Taguchi Yuka, 中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田口 由香 / Taguchi Yuka, 中島 貴奈 / Nakajima Takana		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.taguchi ▲nagasaki-u.ac.jp (責任者: 田口) メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください。 授業の各内容に関することは、LACS等を使って、各担当教員に直接連絡して下さい。		
担当教員研究室/Office	教育学部 6 1 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2312		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 4 限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	明治維新期の文字・ことば・文体及び歴史について学ぶことで、日本の近代国家形成と国際関係を理解し、現代のグローバル化に対応する力を養う。		
授業到達目標/Course goals	1) 日本の近代化と漢字・漢語・漢文訓読との関わりを理解し、説明できるようになる。 2) 日本の近代化における歴史的流れを理解し、説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(前半) 授業への取り組み(発表・提出物等) 25%、最終レポート25% (後半) 授業での課題提出等25%、最終レポート25%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習(2時間): 授業内容について、参考文献等を活用して理解を深めておく。 事後学習(2時間): 授業で出された課題を行う。		
キーワード/Keywords	日本近代史、明治維新史、近代化、産業革命		
教科書・教材・参考書/Materials	資料を配布する。教科書は使用しない。参考文献等は授業の中で紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	日本近代史に関心を持ち、主体的に取り組むことができること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式で行います。 状況によってオンライン形式などに変更する場合にはLACSで連絡します。		
学生へのメッセージ/Message for students	日本の近代化について、当時の史料から読み解いてみましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	田口由香 / 令和2年長崎大学教育学部附属学校園における実地指導研修実施
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション 漢文学：外来語を「漢語」に置き換える【中島・対面】
2	漢文学：「漢字」と日本の近代化 ～文献読解【中島・対面】
3	漢文学：「漢字」と日本の近代化 【中島・対面】
4	漢文学：「漢語」と日本の近代化 ～文献読解【中島・対面】
5	漢文学：「漢語」と日本の近代化 【中島・対面】
6	漢文学：「漢文訓読」と日本の近代化【中島・対面】
7	歴史：日本の近代化【田口・対面】
8	歴史：長崎の国際関係と近代化の関わり【田口・対面】
9	漢文学：振り返り・最終テスト【中島・対面】
10	歴史：学外学習（長崎歴史文化博物館）【田口・対面】
11	歴史：近世における長崎の国際関係【田口・対面】
12	歴史：幕末維新期における長崎の国際関係と近代化【田口・対面】
13	歴史：グループ調べ活動・発表準備【田口・対面】
14	歴史：グループ調べ活動・発表準備【田口・対面】
15	歴史：グループ発表・意見交換／振り返り【田口・対面】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586020101	科目番号 / Course code	05860201
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12521_005		
授業科目名 / Course title	● B3自然の科学 / Natural Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	本授業終了直後, 金曜の昼休み(12時から12時50分): (事前に予約があると確実)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養としての天文学を学びます。天文学の具体的な課題を演習することで自然科学の方法を体験します。 同日の1校時と2校時とを1セット(1回)とし, その日のテーマに対して講義と計算演習を行います。計算演習はパソコン(主にエクセル)を用います。毎回の授業に, 長大仕様のノートパソコンが必要です。 毎回, 計算演習の成果(得られたグラフや求めた数値)を各自でまとめ, LACSへ提出します。 授業目標として, 次の二つを目指します。 ○ 恒星や銀河までの距離を求める方法を理解し, データを用いて距離を計算することができる。 ○ 太陽系や宇宙の年齢を推定する方法を理解し, データを用いて年齢を計算することができる。 宇宙の大きさや星までの距離は日常的な想像をはるかに超えた大きな値です。光の速さで数百万年とか数億年もかかる距離がどのようにして測られるのでしょうか? また, 宇宙は約138億年前に, 太陽系は約46億年前に誕生したと言われていて, どのようにしてそんな大昔に誕生したことがわかるのでしょうか? 本授業では, それらを求める考え方を理解して, 自分で距離や年齢を概算できるようになることが目標です。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	100点満点の総合点で60点以上を合格とします。内訳は以下の予定です。 ○講義内容の確認テスト = 5点/回x7回=35点 ○演習課題の提出 = 3点/回x7回=21点 ○演習に関する小テスト = 3点/回x7回=21点 ○振り返りの実力テスト = 23点/回x1回=23点 (ただし、内訳の詳細は授業開始までに若干の変更があるかもしれません。授業初日に連絡します。) その他の追試験や追加課題、再試験は原則としてありません。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	○演習課題を締め切りまでにLACSに提出してください(1h)。 ○LACSの小テストや確認テストを期限内に行ってください(1h)。 ○LACSの資料や参考図書を参照して授業内容を復習してください(2h)。
キーワード/Keywords	宇宙, 銀河, 恒星, 太陽系, 地球
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。 参考図書： ○「すべての人の天文学」岡村定矩ら著 日本評論社 ○「宇宙創成(上下)」サイモン・シン著, 青木薫訳 新潮文庫 ○「算数でわかる天文学」ダニエル・フライシュ, ジュリア・クレグナウ著, 河辺哲次訳 岩波書店 ○「宇宙地球科学」佐藤文衛, 細川秀夫著, 講談社 ○「極・宇宙を解く」福江純, 沢武文, 高橋真聡編 恒星社厚生閣 ○「理系のためのExcelグラフ入門」金丸隆志著 講談社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	対面で実施します。ただし、オンデマンドの講義ビデオを活用した反転授業を取り入れる予定です。授業方法の詳細は、授業の初回で説明します。
学生へのメッセージ/Message for students	パソコンを使った計算演習を行います。高校で習った $\sin$, $\cos$ や、指数、対数($\log$)などを復習しておいてください。また、エクセルの基本的な使用方法を参考図書「理系のためのExcelグラフ入門」などを利用して予習しておいてください。 元来計算が苦手だったり嫌いな方にはづらい授業になるかもしれません。授業を選択する際には注意してください。計算が嫌いなのに抽選で仕方なく履修せざるえない方は、これを機会に計算を好きになれるとよいですね、ちなみに、私は好きです。それほど得意ではありませんが。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週:2校時分	—対面の予定— ●地球は宇宙のどこにあるのか? (宇宙の階層構造, 惑星, 恒星, 銀河, 銀河団, 宇宙) [・確認テスト] 演習: PCソフトMitakaの使い方, 宇宙の果てまで行って帰ってくる [・小テスト]
第2週:2校時分	—オンデマンド講義+対面演習の予定— ●空を見る時刻や季節によって見える星が違うのはなぜか? (地球から見た宇宙, 日周運動, 年周運動, 地動説と天動説) [・確認テスト] 演習: PCソフトMitakaの使い方, 長崎市で見た星空 [・小テスト]

第3週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 恒星の距離はどのようにして測るのか？ （年周視差，距離の新しい単位：パーセク） [・確認テスト] 演習：エクセルの使い方，太陽の近くの恒星分布，宇宙にある星の数 [・小テスト]
第4週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● アンドロメダ銀河の距離はどのようにして測るのか？ （距離と明るさ，明るさの指標：等級，変光星） [・確認テスト] 演習：銀河系の隣にあるアンドロメダ銀河までの距離，銀河の衝突 [・小テスト]
第5週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 恒星の大きさはどのようにしてわかるのか？ （明るさと色，熱いものから出る光：黒体放射） [・確認テスト] 演習：色と明るさで星を分類（HR図），主系列星，巨星，白色矮星 [・小テスト]
第6週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 宇宙に始まりがあったというのはどのようにしてわかるのか？ （遠くの銀河ほど速く遠ざかっている：ハッブル・ルメートルの法則） [・確認テスト] 演習：宇宙の膨張，遠くの銀河までの距離，宇宙の年齢 [・小テスト]
第7週：2校時分	—オンデマンド講義＋対面演習の予定— ● 太陽系の年齢はどのようにしてわかるのか？ （太陽系の誕生と隕石，放射性壊変と時間） [・確認テスト] 演習：隕石の年代測定 [・小テスト]
第8週：1校時分	—オンデマンドの予定— まとめと振り返り [・実力テスト]

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592002501	科目番号 / Course code	05920025
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●B4ことばの世界 / World of Words		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 久保田 さゆり / Kubota Sayuri, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 久保田 さゆり / Kubota Sayuri, 倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松元浩一(ファシリテーター) kmat▲nagasaki-u.ac.jp 倉田 伸 shin1222kurata▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください) 久保田さゆりsyrkubota▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	松元浩一 教育学部本館6階 617号室 倉田 伸 教育学部本館5階 509号室 久保田さゆりsyrkubota▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00-12:50、14:20-14:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、インターネットやロボット等と人が共存する情報化社会を作り出すプログラミング言語も題材にしながら、文化の価値をめぐる問題や人間以外の動物との関係をめぐる問題を含めた、現代に生きる人間の諸活動の問題をことば、文化、情報の観点から考察する。 社会を取り巻く環境の大きな変化により「ことば」をめぐる教育が大きく変わろうとしている。手紙や電話とは異なり、スマホやICT機器等の発達により、「ことば」の伝達方法やコミュニケーションの様態も劇的に変化している。 こうしたなかで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力、異なる背景をもつ他者と論理的に議論をする力をどのように身につけ、学べばよいかを日本における今日の教育や文化のもつ価値とも関連づけて考察する。 また、長崎は16世紀から外国語を取り入れる窓口となって日常的に外来の言葉と融和してきた。「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、他者と係る力を身につけたのかを可能な限り探りたい。なお、ことばの変化、歴史、風土、環境との関連にも触れ、今日の地球環境や日常生活の変化に関する理解を再考する契機としたい。		
授業到達目標/Course goals	(1) 自らが受けてきた「ことば」の教育や、「価値」をめぐる表現の慣習を振り返り、省察し、発表することができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) (2) 日本における「ことば」の教育や、議論や対話に関する教育の方向性を理解したうえで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけるとよいかを批判的に、自律的に表現できる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。) (3) 古くから長崎の先人が接してきた外来語との関わりをもとに、日本語や外国語によるコミュニケーションの在り方に新たな視点を見つけ出すことができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。) (4) 情報化社会に対応した表現方法で、プログラミング言語等を用いて、これまでに学んだ長崎の文化を発信することができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・課題小テスト（25%） ・ショートエッセイ（25%） ・授業への積極的な関わり（授業時の発表用課題の予習を含む）（25%） ・課題レポート（25%）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の予習、復習の内容が授業ごとに提示されるので、指示に従って準備すること（LACSによる課題提示等も行われる予定です。詳細は授業時にお知らせします。） ・事前学習として、授業のなかで指示された課題の下調べとそのまとめ（2h） ・事後学習として、授業で学んだことをもとにミニレポートやショートエッセイ等の作成（2h）
キーワード/Keywords	日・英語、外国語活動、ICT機器活用、マークアップ言語、プログラミング言語、文化の価値、動物、長崎県の歴史
教科書・教材・参考書/Materials	授業で用いる資料は、教員が授業時に提示したり配布したりするが、ほかに必要なものは適宜準備するようその都度指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	グループ討論では、全員が自らの下調べをもとに積極的に議論をリードしていくことを期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目-5回目	松元担当。前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長崎の歴史と英語との関わりについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考察する。最後に、コミュニケーションの在り方に関わるショートエッセイを課す。（対面形式による授業）
6回目-10回目	倉田担当。これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークアップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。最後に作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表現について省察する。（対面形式による授業）
11回目-15回目	久保田担当。人間と動物の関係をめぐる議論を手がかりに、文化や価値の対立の場面における対話の方法や、倫理に関する日常的理解と言語表現との関係を考察し、ディスカッションを行う。また、言語の使用がもつ意味について、「ことば」をもたないとも言われてきた、人間以外の動物を例に倫理的観点から捉えなおし、ショートエッセイにまとめる。（対面形式による授業）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592002701	科目番号 / Course code	05920027
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B4音楽 / Music		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	・メールによる質問等はmiyamo▲nagasaki-u.ac.jpまで。 ・対面による質問等は研究室前掲示参照		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	芸術の理解、表現方法、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	声楽曲やオペラ作品等を取り上げ、歴史や風土との関りを知り、音楽作品を鑑賞し理解を深める。発声の仕組みを知り、自分の声を活かして歌唱や音読で表現をする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各回提出の授業レポート(10点×15回=150点を100点に換算)の評価(100%)。合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 インターネット(YouTube等)を活用して、授業テーマに関わる音楽や動画を視聴すること。また、インターネットを活用して、講義内容にかかわる情報検索を行うこと。(2h) 復習 授業内容の理解度を確認するために課題レポートの提出を求めます。課題レポートの作成に向けての復習をすることを求めます。(2h)		
キーワード/Keywords	声楽、日本歌曲、唱歌・童謡、ドイツ歌曲、オペラ、発声、歌唱		
教科書・教材・参考書/Materials	授業計画に沿い、PowerPointスライドまたは資料(実技実践授業のみ)を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏(歌唱とピアノ伴奏)を活用する(実技実践授業のみ)。参考:歌唱芸術(白水社)、ドイツ歌曲の歴史(音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽(ダイヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ(西東社)、絶対!うまくなる合唱100のコツ(ヤマハミュージックメディア)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教室の座席定員(音楽棟1番教室)が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	対面授業（第1, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14回） オンデマンド授業（第3, 5, 7, 9, 11, 13, 15回）
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。声楽実践や発声・音読では、一人で人前で独唱や発語する心構えが必要と思われます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	対面授業「心で感じるための知識について」～導入
第2回	対面授業 実技実践「発声教室～ホール体験にむけて」「声楽の発声について～歌唱授業で教える『発声』とは?」「声楽の歌声について～声楽的に『良い声』『悪い声』とは?」
第3回	オンデマンド授業「春への憧れ」
第4回	対面授業 実技実践「宮下茂の発声教室：理論編」
第5回	オンデマンド授業「日本の歌曲《日本の中の西洋音楽》の歴史」明治時代
第6回	対面授業 実技実践「宮下茂の発声教室：実践編」
第7回	オンデマンド授業「日本の歌曲《日本の中の西洋音楽》の歴史」山田耕筰～大正時代
第8回	対面授業 実技実践「宮下茂の発声教室：立ち方を考える」
第9回	オンデマンド授業「唱歌と童謡の歴史」
第10回	対面授業 実技実践「宮下茂の発声教室：姿勢と呼吸の練習」
第11回	オンデマンド授業「ドイツ歌曲（ドイツ・リート）の歴史」
第12回	対面授業 実技実践「宮下茂の発声教室：歌声の選び方（おどかす真似）」
第13回	オンデマンド授業「旋律の意味を考える」
第14回	対面授業 実技実践「宮下茂の発声教室：今日は子どもたちと練習します」
第15回	オンデマンド授業「授業のまとめ」

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586005301	科目番号 / Course code	05860053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12711_005		
授業科目名 / Course title	● B5経済活動と社会 / Economic Activity and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三輪 加奈 / MIWA kana		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学・歯学・情報データ・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-miwa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際には▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階 623号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちの日々の生活は、他の国々、世界とつながっています。また、世界の国々の相互依存性は、グローバル化やテクノロジーの進歩に伴い急速に高まっています。そのような相互依存の状態では、気候変動や地球温暖化などの世界全体に関わる問題はもちろん、ある国での財政不安や政治不安、感染症の拡大などが、世界に様々なリスクや影響を与える可能性があります。この授業では、私たちと海外とのつながりや、世界が抱えている問題・課題などについて学習します。特に世界人口の約84%以上が暮らしている開発途上国との関わりを知り、より深く理解することは、今後の日本の経済活動を考える上でも非常に重要であるといえます。		
授業到達目標/Course goals	この授業は、次の長崎大学DPを授業到達目標としています。 1. 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。 4. 地球環境と社会の多様性を理解している。 6. 地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト(45点) + 期末試験(45点) + 授業参加度(10点) = 合計100点のうち60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 次の講義内容について、事前に参考文献などを読んでおいてください(2時間) 復習: 講義内容および講義資料を基に復習してください。また、指定された小テストを受け、学習内容の定着を図ります(2時間)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	参考書： 内海成治（2023年）『新版 国際協力論を学ぶ人のために』世界思想社 大塚啓二郎（2020年）『なぜ貧しい国はなくなるのか：正しい開発戦略を考える（第2版）』日本経済新聞出版社 福井清一・三輪加奈・高篠仁奈（2023年）『開発経済を学ぶ 改訂版』創成社 山形辰史（2023年）『入門 開発経済学』中公新書
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	授業形態は、対面形式を予定しています。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション【対面】
第2回	日本と世界のつながり【対面】
第3回	世界の所得と貧困（１）【対面】
第4回	世界の所得と貧困（２）【対面】
第5回	世界の格差・不平等（１）【対面】
第6回	世界の格差・不平等（２）【対面】
第7回	人的資本（教育・健康）の課題（１）【対面】
第8回	人的資本（教育・健康）の課題（２）【対面】
第9回	国際貿易の現状（１）【対面】
第10回	国際貿易の現状（２）【対面】
第11回	国際労働移動（１）【対面】
第12回	国際労働移動（２）【対面】
第13回	SDGsとブラネタリーヘルス（１）【対面】
第14回	SDGsとブラネタリーヘルス（２）【対面】
第15回	日本の国際協力【対面】
第16回	LACSを用いた期末試験の実施

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586005701	科目番号 / Course code	05860057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12721_005		
授業科目名 / Course title	● B5企業の仕組みと行動 / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(方洲キャンパス)本館610号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日16:15-17:00 (メールもしくは講義前後に要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポーティングがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのか、また企業は市場でいかにして信頼を得るのかを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中のグループワーク(30%)、期末試験(50%)、その他ディスカッション参加度など(20%)による評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書理解の部分は予習復習。 グループワークの作法を学習した後、講義外で練習を行う。 (4h)		
キーワード/Keywords	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	内藤文雄『会計学エッセンス第5版』中央経済社、2022年。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法（active listening）、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。 オンラインで実施予定。
学生へのメッセージ/Message for students	答えのない問を考え続ける楽しさを体験してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（オンライン） 企業と社会の関係～財務報告と監査の役割を理解する
第2回	社会科学としての会計学（オンライン） 問題解決型の社会科学について考える
第3回	財務報告の手段（オンライン） 主要財務諸表と非財務情報
第4回	財務報告の国際的動向（オンライン） 財務報告の目的変遷～会計説明責任と投資意思決定支援
第5回	監査の現場の問題（１）（対面） 会計士のジレンマ
第6回	監査現場の問題（２）（対面） ディスカッション
第7回	監査現場の問題（３）（対面） 監査人の独立性
第8回	監査現場の問題（４）（対面） ディスカッション
第9回	制度決定現場の問題（１）（対面） 功利主義とビジネス倫理
第10回	制度決定現場の問題（２）（対面） ディスカッション
第11回	制度決定現場の問題（３）（対面） 貨幣価値測定とビジネス倫理
第12回	制度決定現場の問題（４）（対面） ディスカッション
第13回	企業の情報開示と信頼構築（１）（対面） 環境問題報告の影響
第14回	企業の情報開示と信頼構築（２）（対面） ディスカッション
第15回	振り返り総括（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586027701	科目番号 / Course code	05860277
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15091_005		
授業科目名 / Course title	● B6対人関係の社会学 / Sociology of Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指します。 私達はこの世に生まれてから死ぬまで、直接的にせよ間接的にせよ、必ず誰かとの関係の中で生きています。その中には親、きょうだい、親戚、友人、恋人や、学校や職場などで出逢う人々、そしてまた直接は出会わない赤の他人も含まれます。 この授業では、成長するにしたがって広がっていく対人関係の中で身についていく考え方・ふるまい・関係性について理解を深めること、そしてまた、自分自身の経験についてふりかえり、これまで対人関係の中で受けてきた様々な影響や、今後めぐりあう対人関係について客観的・分析的に考える力を身につけることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる ・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べることができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わるることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内ワーク及び全課題の得点総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1) 全体の2/3以上の出席及び、(2) ワークと課題を全体の2/3以上提出していること(3) 最終グループプレゼンテーションに参加していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください) 本科目では、最終試験は実施しません。その代わり、授業回数が16回ありますので注意してください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回動画を見て、いくつかのミニワーク（課題）を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は必ず予習動画を見てワークを提出したうえで臨むこと。（4h）
キーワード/Keywords	社会化、ジェンダー、文化、スクールカースト、文化階層、文化的再生産
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。 また、主な参考書は以下の通りです。 ビエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店 ビエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店 恒吉僚子(1992)『人間形成の日米比較－かくれたカリキュラム』中央公論社（中公新書） 木村涼子（1999）『学校文化とジェンダー』勁草書房 ポール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店（ちくま学芸文庫） アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容－近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 アーヴィング・ゴッフマン(1980)『集まりの構造－新しい日常行動論を求めて』誠信書房
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点での入室を断る場合があります。（その時間の出席は認めません）授業開始時間には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻・欠席をしないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻・欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。 対面授業の予定。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・社会化とは何か（１）【対面】
第2回	社会化とは何か（２）【対面】
第3回	家族（１）【対面】
第4回	家族（２）【対面】
第5回	学校と友だち（１）【対面】
第6回	学校と友だち（２）【対面】
第7回	恋愛・結婚（１）【対面】
第8回	恋愛・結婚（２）【対面】
第9回	他人とのかかわり（１）【対面】
第10回	他人とのかかわり（２）&グループプレゼンテーションにむけて【対面】
第11回	グループプレゼンテーション準備ワーク【対面】
第12回	グループプレゼンテーション準備ワーク【対面】
第13回	グループプレゼンテーション（１）【対面】
第14回	グループプレゼンテーション（２）【対面】
第15回	グループプレゼンテーション（３）【対面】
第16回	グループプレゼンテーション（４）および授業まとめ【対面】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592008901	科目番号 / Course code	05920089
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B6ジェンダーの視点から考える現代社会 / Contemporary society from a gender perspective		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中島 ゆり / Nakajima Yuri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中島 ゆり / Nakajima Yuri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中島 ゆり / Nakajima Yuri		
科目分類 / Course Category	ブラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学・歯学・情報データ・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakajimayuri@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	A&T Lab 爽創館203		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて連絡すること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会と家庭におけるジェンダーにかかる問題を知り、自分の今後のキャリアのあり方と、社会における問題の解決の方策を検討する。今まで、そこから不利益を受けてきたという認識がない人も多いかもしれないが、社会の中にはそれによって様々な困難が発生していることについて、具体的事例から考え、グループ・ディスカッションを通じてともにその解決法について考えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 日本社会におけるジェンダーにかかる問題について説明できる。(DP4, DP6) 2. ジェンダーにかかる問題を自らの問題として理解できる。(DP4, DP6) 3. ジェンダーにかかる問題を解決するための方策について考えることができる。(DP4, DP6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習ワークシート、リアクションペーパーなどの提出物 30% グループワークへの取り組み、発表 30% 最終レポート 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業前に文献・資料を読み、予習ワークシートを完成させる。(2時間) フィードバックを書く。授業で学んだこと、わからなかったことを復習する。(2時間)		
キーワード/Keywords	ジェンダー、公正、無意識のバイアス、SOGI		
教科書・教材・参考書/Materials	とくに指定しない。 文献・資料はこちらで準備し、LACSを通して配付する。 参考文献については授業時に適宜、紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	グループディスカッションおよびグループでの発表を課すため、積極的に受講してもらう必要がある。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	社会学の立場から、さまざまなデータをもとにものごとを考え、視野を広げる練習をしていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回（11月29日）	イントロダクション（対面）
第 2 回（11月29日）	教育とジェンダー（対面）
第 3 回（12月6日）	労働とジェンダー（対面）
第 4 回（12月6日）	セクシュアリティと恋愛（対面）
第 5 回（12月13日）	トランスジェンダー（対面）
第 6 回（12月13日）	結婚と家族（対面）
第 7 回（12月20日）	家事・育児・介護（対面）
第 8 回（12月20日）	仕事と家庭の両立（対面）
第 9 回（1月10日）	女性の貧困と性の商品化（対面）
第10回（1月10日）	性暴力（対面）
第11回（1月24日）	ジェンダーと健康（対面）
第12回（1月24日）	メディアとルッキズム（対面）
第13回（1月31日）	男性学（対面）
第14回（1月31日）	政治とジェンダー（対面）
第15回（2月7日）	無意識のバイアス（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592006502	科目番号 / Course code	05920065
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B7Introduction to International Development / Introduction to International Development		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	遠山 峰司 / Takashi Toyama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	遠山 峰司 / Takashi Toyama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	遠山 峰司 / Takashi Toyama		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toyama.takashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで * 10時から16時まで * 面談予約や質問はtoyama.takashi@nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。 10:00 a.m. to 4:00 p.m. Monday through Friday Please make an appointment or send questions to toyama.takashi@nagasaki-u.ac.jp with the name of the department and your name in the subject line.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日、新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの組織、一つ分野、一つの国では対処困難な課題が山積しています。課題解決に向けて他者や他国と協力して取り組むことが求められるこの世界で、より厳しい立場に置かれている開発途上国とその人々―世界の人口80億人の8割を占めています - の暮らしについて考えることは今日の我々にとって極めて重要です。では、開発途上国はどのような課題を抱えているのでしょうか。その原因は何に求められるのでしょうか。国際社会は開発途上国に対して何に、どのように協力をしているのでしょうか。そして、そのような協力はどのような動機に基づくものなのでしょうか。 本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 100点 総合点(100点) 60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. 事前: シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。(2h) 2. 事後: 講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点あれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。(2h)
キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助 (ODA)、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等を紹介しします。 【全般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構 (JICA) ウェブサイトからダウンロード可能
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業中に発言すること。本科目の授業では受講生に意見や質問を求めます。授業中に意見を述べたり、質問することは自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生が共に学ぶ貴重な機会です。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	1. 授業の特徴: 担当教員の実務経験を活かした理論と実務 (実際) に基づく講義です。写真や動画、国際協力の実例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を行います。 2. 授業の形態: 担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。対面を基本とし、必要に応じてオンライン (多くても数回程度を想定) を切り替えます。 3. 授業の流れ: 冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義 (質疑含む)、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告をします。LACSには講義資料を掲示します。 4. 意見や質問: 意見や質問を歓迎します。 5. 授業の進行: 受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの都合により、授業内容の順を変更する可能性があります。 6. 課題: 剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。 1. Characteristics of the class: The lectures are based on theory and practice (actual practice) utilizing the practical experience of the instructor in charge. The classes are taught in real-life situations through photos, videos, and examples of international cooperation, as well as by guest speakers. 2. Class format: Lectures are given by the instructor and guest speakers. To be delivered face to face, switching to online (assuming a few times at most) if necessary. 3. Class flow: The class begins with a review of the previous class and presentation of learning objectives, followed by the lecture (including Q&A), and ends with a recap of the main points and positioning of the class, as well as a notice for the next class. 4. Comments and questions: Comments and questions are welcome. 5. Class progression: The order of class content is subject to change depending on the number of students, progress, and availability of guest speakers. 6. Assignments: Any plagiarism or malpractice will result in a zero grade.
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとしたら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	遠山 峰司 約30年にわたり独立行政法人国際協力機構(JICA)の職員として海外と国内双方の様々な開発協力事業 (技術協力、有償資金協力、無償資金協力、市民参加協力等) に従事。これまでの海外駐在先はフィジー (2000年から2004年) とパプアニューギニア (2016年から2020年) で、地域的には大洋州が専門地域といえる (出張先は全世界約40か国)。国内と海外での実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 For about 30 years he has been engaged in development cooperation practice as a staff of the Japan International Cooperation Agency (JICA), the implementing agency of the Japanese Official Development Assistance (ODA). He has been in charge of project formulation and management etc. mainly in the field of fisheries and agriculture and been specifically familiar with JICA operation in the Pacific. He has experiences of having worked for JICA Fiji office (2000-2004) and JICA Papua New Guinea office (2016-2020) and he visited about 40 countries all over the world. / He will conduct this class with his
授業計画詳細 / Course Schedule	

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(1校時) / 1	授業の紹介【対面】 開発途上国の課題【対面】 Introduction to the course【In person】 What are the characteristics of development issues?【In person】
第2回(2校時) / 2	開発途上国の課題【対面】 What are the characteristics of development issues?【In person】
第3回(1校時) / 3	国際協力と開発援助の基本用語【対面】 What is poverty, development, and developing country?【In person】
第4回(2校時) / 4	国際協力と開発援助の基本用語【対面】 What is poverty, development, and developing country?【In person】 開発援助のアクター【対面】 What are aid actors?【In person】
第5回(1校時) / 5	日本の政府開発援助の仕組みと実例【対面】 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?【In person】
第6回(2校時) / 6	日本の政府開発援助の仕組みと実例【対面】 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance?【In person】
第7回(1校時) / 7	開発援助の歴史【対面】 What is the history of international development?【In person】
第8回(2校時) / 8	開発援助の歴史【対面】 What is the history of international development?【In person】
第9回(1校時) / 9	援助する理由【対面】 Why giving aid?【In person】
第10回(2校時) / 10	国際協力に参加する【対面】 How can I participate in development cooperation?【In person】
第11回(1校時) / 11	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker【In person】
第12回(2校時) / 12	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker【In person】
第13回(1校時) / 13	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker【In person】
第14回(2校時) / 14	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker【In person】
第15回(1校時) / 15	開発援助の今後、総括【対面】 Future of development assistance and summary【In person】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592006701	科目番号 / Course code	05920067
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Second year students(医学・歯学・情報データ・工学・環境)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota▲nagasaki-u.ac.jp (▲→@)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟 (言語教育研究センター) 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please make an appointment.		

授業の概要及び位置づけ/Course overview	Is the world today in a bipolar or a multipolar order? This question remains debatable. One thing for sure, we are witnessing a transitional period that deepens uncertainty. While rivalry between Washington and Beijing is shaping a new world order, Moscow is still challenging for the superpower status. It is also said the 21st century is the "Asian Century" or the "Pacific Century," but Europe is still a battle field of power politics. In the age of uncertainty, Japan also faces various unprecedented challenges as well as traditional difficulties. It is located in the Northeast Asia with three nuclear-weapon states, including Russia, China and North Korea, where history also continues to plague the relations among nations. While the importance of the Japan Self Defense Forces (JSDF) and the Japan-US alliance have risen due to a series of incidents that destabilize the region, successive administrations have dithered over the amendment of the Japanese constitution. Such government indecision often spoils Japanese national interests. On the other hand, however, we must admit that some of the problems do not have easy solutions or answers. Failed decisions could cause damage the relationships with other countries and arouse massive public oppositions. The governments face with dilemma when they make such important decisions from time to time. At the same time, we also must raise our voice before the governments reach their decisions. In the first place, what kind of voice should we raise? Do we have our own opinions and enough knowledge to judge the government decisions? Are our positions always correct and not biased? Are there any other options? In this context, this series of lecture takes up several controversial issues that relate to Japan's foreign and national security policy and discuss how we should deal with them. It covers a wide range of topics including traditional security such as territorial disputes, arms race and sea lane defense as well as non-traditional security such as climate change, cybercrimes and food sustainability. It also discusses the difference between theory and practice of International Relations. In addition, this course will be full of opportunities to listen, speak, read, and write English, since the majority of the classmates could be non-native English speakers. Not only instructor's lectures, students will listen to the guest speakers' English as well as international news, Youtube and so on. All students must participate the discussions and express their opinions in English during the lectures. For preparation of the class, students are required to read news and write emails to the instructor about their findings and opinions in English weekly. Finally, students are required to write a 1000-words position paper as an assignment. (The extended syllabus and references are available at
授業到達目標/Course goals	The goals for students in this course are; (1) gain a deeper understanding of Japan's foreign and national security policy and the complex disputes in the region, (2) develop critical thinking, (3) gain confident in expressing one's opinions logically, and (4) write a position paper and make a presentation in English.
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Class Attendance and Participation (15 points), Preparation for the class (21 points), Position paper (40 points), and Presentation (24 points)
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Course preparation: 2 hours Writing a position paper: 2 hours
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	No textbook
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	This series of lectures will be conducted face-to-face. The extended syllabus and references are available at https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp . password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	- Students with different backgrounds and varying English level are expected to take this course and discuss on controversial issues together. Please treat your colleagues and different opinions with respect. - For non-native English speakers; this course will provide you a lots of opportunities to practice English. Listen to and read international news, speak up and write in English as many as possible. - For native English speakers; if you think this course is too easy for you, I'll give you Japanese assignments.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	Dr. Kiyota is an Associate Professor at the Office for Global Relations, Nagasaki University. Earlier, she was a First Secretary at the Embassy of Japan in Thailand from April 2019 to April 2021, and an Official at Regional Policy Division, Asian and Oceanian Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs from April 2017 to March 2019. She was also an Advisor/Researcher at the Embassy of Japan in India from February 2015 to February 2017. This series of lectures will take up very important issues that impact Japan's foreign and national security policy, based on her experiences in the field of diplomacy.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
Week 1-1	Introduction, course overview, structure and contents of classes, references and resources, how to discuss about topics, etc. (face to face)
Week 1-2	National security environment surrounding Japan, the decision-making process in Japan, Japanese foreign policy, Free and Open Indo-Pacific (face to face)
Week 2-1	Article 9 of the Japanese Constitution, Japan Self Defense Force (JSDF), counterstrike capabilities, etc. (face to face)
Week 2-2	Japan-US Alliance, US Military Bases in Japan, etc. (face to face)
Week 3-1	Territorial disputes, Senkaku Islands, Takeshima, Northern Territories, etc. (face to face)
Week 3-2	Taiwan, Sea Lanes of Communications (SLOC), South China Sea, etc. (face to face)
Week 4-1	North Korea, missile and nuclear development, missile defense, etc. (face to face)
Week 4-2	Economic security, technology transfer, weapon development, defense industry, etc. (face to face)
Week 5-1	History, compensation, Yasukuni, comfort women, etc. (face to face)
Week 5-2	ASEAN, Intervention in the domestic affairs, etc. (face to face)
Week 6-1	Refugee, human rights, immigration, etc. (face to face)
Week 6-2	COVID-19 pandemic, vaccine diplomacy, COVAXIN, WHO, etc. (face to face)
Week 7-1	Food security (face to face)
Week 7-2	Energy and environmental security (face to face)
Week 8-1	Presentation and wrap up (face to face)
Week 8-2	Presentation and wrap up (face to face)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592009101	科目番号 / Course code	05920091
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B8放射線科学のいろいろ / Radiation science, etc.		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中島 正洋 / Nakashima Masahiro, 工藤 崇 / Kudou Takashi, 松山 睦美 / Matsuyama Mutsumi, 高村 昇 / Takamura Noboru, 光武 範史 / Mitutake Norisato, 松瀬 美智子 / Michiko Matsuse, 安東 恒史 / Ando Koji, 横山 須美		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中島 正洋 / Nakashima Masahiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中島 正洋 / Nakashima Masahiro, 工藤 崇 / Kudou Takashi, 松山 睦美 / Matsuyama Mutsumi, 高村 昇 / Takamura Noboru, 光武 範史 / Mitutake Norisato, 松瀬 美智子 / Michiko Matsuse, 安東 恒史 / Ando Koji, 横山 須美		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	高村昇: takamura@nagasaki-u.ac.jp 横山須美: sumi0704@nagasaki-u.ac.jp 工藤崇: tkudo123@nagasaki-u.ac.jp 光武範史: mitsu@nagasaki-u.ac.jp 松瀬美智子: michikom@nagasaki-u.ac.jp 松山睦美: mutsumi@nagasaki-u.ac.jp 安東恒史: k-ando@nagasaki-u.ac.jp 中島正洋: moemoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	原爆後障害医療研究所		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡をする		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	放射線科学は学際複合的で基礎生物学から基礎・臨床医学、社会医学等様々な領域を含んでいます。長崎大学で学ぶ学生として、知っていて欲しい放射線に関する様々なトピックを紹介します。		
授業到達目標/Course goals	多彩な放射線科学のトピックスについて学ぶ 1. 長崎大学の学生として原爆被爆者の健康影響の概要を説明できる 2. 放射線被ばくに対する個体または細胞の反応を説明できる 3. 放射線災害による復興サイクルを説明できる 4. 放射線被ばく患者に対する医療や被ばく防護について説明できる 5. リスクコミュニケーションとは何か説明できる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題70点+授業への取り組み30点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習 放射線の基礎知識(2時間); 事後学習: 配布資料の復習(2時間)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	講義用の資料		

受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高村 昇：福島やチオルノービルでの放射線災害リスクコミュニケーションの専門家でその経験に基づく科学的知見を紹介する 横山 須美：放射線防護学や放射線リスク評価の専門家で原子力規制庁との協働経験があり、放射線防護学について紹介する 工藤 崇：放射線医療被ばく研究、特に国際比較研究の代表者で、医療被ばくの実際を紹介する 光武 範吏：甲状腺発がんや診断研究の専門家でチオルノービル事故後の小児甲状腺がんと福島の小児甲状腺がんの相違について紹介する 松瀬 美智子：甲状腺発がんや診断研究の専門家でチオルノービル事故後の小児甲状腺がんと福島の小児甲状腺がんの相違について紹介する 松山 睦美：放射線防護剤や放射線誘発甲状腺がんの動物実験の専門家で、放射線防護剤や発がん機構について紹介する 安東 恒史：血液内科専門医で放射線と血液腫瘍に関する知見を紹介する 中島 正洋：病理医の立場で原爆被爆者腫瘍の研究者。被爆者の健康影響について紹介する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
10/4(金) 1.2校時	安東(対面授業)：放射線被ばくと造血障害について	A
10/11(金) 1.2校時	横山(対面授業)：身のまわりの放射線と放射線量について	A
10/18(金) 1.2校時	高村(対面授業)：長崎、チオルノブイリから福島を学ぶ	A
10/25(金) 1.2校時	松山(対面授業)：放射線と健康影響について	A
11/1(金) 1.2校時	工藤(対面授業)：放射性同位元素の医療への利用	A
11/8(金) 1.2校時	光武・松瀬(対面授業)：放射線と甲状腺	A
11/15(金) 1.2校時	中島(対面授業)：原爆被爆者への放射線影響(1)	A
11/22(金)1校時	中島(対面授業)：原爆被爆者への放射線影響(2)	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592009301	科目番号 / Course code	05920093
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B8放射線診療を学ぶ / Radiology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	東家 亮, 森川 実 / Morikawa Minoru, 江川 亜希子 / Egawa Akiko, 石山 彩乃 / Ishiyama Ayano, 小池 玄文, 田崎 裕太郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	東家 亮		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	東家 亮, 森川 実 / Morikawa Minoru, 江川 亜希子 / Egawa Akiko, 石山 彩乃 / Ishiyama Ayano, 小池 玄文, 田崎 裕太郎		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学(保)・歯学・情報データ・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	東家 亮 <toya▲nagasaki-u.ac.jp> 森川 実 <m-minoru▲nagasaki-u.ac.jp> 江川 亜希子 <aegawa▲nagasaki-u.ac.jp> 石山 彩乃 <ahno▲nagasaki-u.ac.jp> 小池 玄文 <hkoike▲nagasaki-u.ac.jp> 田崎 裕太郎 <tasaki.y▲nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信するときは▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医歯薬総合研究科 放射線診断治療学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7355		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金曜日 9:00-17:00(休日・祭日を除く。診療や出張で不在のこともある)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医療分野においては放射線のもつ様々な特性が応用されている。本講座では放射線専門医による講義を通して、放射線の特性を理解し、臨床医学における放射線の役割・利用についての基礎を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	臨床医学における放射線の役割、放射線診療についての基礎知識を身につける。 知的活動の動機付けを高め、学的な思考方法と学習能力を育てる。 学生と教員、相互のコミュニケーションを図り、ものの見方や考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加度70%、課題30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	指定がある場合を除き、事前学習は特に必要ありません。 事後学修として授業内容の復習を行う(合わせて4時間)		
キーワード/Keywords	放射線科学、放射線治療・がん治療、画像診断		
教科書・教材・参考書/Materials	放射線治療計画ガイドラインはネット上で見ることができます。復習の参考にしてください。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	選択科目【よくわかる放射線診療】とは一部内容が重複しています。 講義担当日や講義内容が変更となる場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	東家 亮、森川 実、江川 亜希子、石山 彩乃、小池 玄文、田崎 裕太郎 /上記6名は放射線科において医師として各々の専門分野における実務経験を有している。この実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義により教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	医療被爆と職業被爆 1（石山彩乃）対面
2	医療被爆と職業被爆 2（石山彩乃）対面
3	放射線治療とお金のはなし 1（江川亜希子）対面
4	放射線治療とお金のはなし 2（江川亜希子）対面
5	放射線診療の実際 1（東家亮）対面
6	放射線診療の実際 2（東家亮）対面
7	放射線診療の実際 3（東家亮）対面
8	放射線診療の実際 4（東家亮）対面
9	放射線治療基礎学 1（田崎裕太郎）対面
10	放射線治療基礎学 2（田崎裕太郎）対面
11	放射線科医の仕事と役割 1（小池玄文）対面
12	放射線科医の仕事と役割 2（小池玄文）対面
13	MRI 1（森川実）対面
14	MRI 2（森川実）対面
15	まとめ（石山彩乃）対面

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586026301	科目番号 / Course code	05860263
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11531_005		
授業科目名 / Course title	●B9社会における精神健康 / Mental Health in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永江 誠治 / Nagae Masaharu, 伊藤 里佳, 岳 こなみ		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	永江 誠治 / Nagae Masaharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	永江 誠治 / Nagae Masaharu, 伊藤 里佳, 岳 こなみ		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	永江 : m-nagae▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送るときは▲を@に変えてください) 岳 : k.take▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送るときは▲を@に変えてください)		
担当教員研究室/Office	永江 : 医学部保健学科 4階 岳 : 医学部保健学科 5階		
担当教員TEL/Tel	永江 : 095-819-7947 岳 : 095-819-7952		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて随時対応する。 永江 : m-nagae▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送るときは▲を@に変えてください) 岳 : k.take▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送るときは▲を@に変えてください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会における精神障害や精神保健に関する基礎的内容(精神障害、その支援)と社会生活に及ぼす影響について理解する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会における精神障害や精神保健に関する基礎的知識について調べることができる。 2. 事例を通して、各テーマにおける精神健康問題と社会との関係について考察することができる。 3. 各テーマについてディスカッションした内容を取り入れて考察を深めることができる。 4. 各テーマについてグループで考察した内容を効果的に他者に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワークシート(10点×6回)授業への取り組み姿勢、グループ討論状況、考察内容(評価者:各担当教員) 最終発表(20点)発表内容、プレゼン能力、質疑応答能力(評価者:永江) レポート(20点)授業全体を通しての学びと考察(評価者:永江) <合格基準> 長崎大学成績評価ガイドラインにそって評価し、C判定以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 授業テーマについて文献等を用いて調べて来る(2H) 事後学習: 授業で使用するワークシート(調べた内容・映画からの学び・話合ったこと・あなたが考えたこと)を完成させる(2H)		
キーワード/Keywords	社会、精神健康、精神保健、シネマ・サイキアトリー、当事者		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: なし		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	精神健康、精神保健、精神障害等に関する情報の収集を積極的に行うこと
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	第1回目の授業は、10:30-12:00の1コマです。 授業は対面形式で実施します（ただし状況に応じてオンライン形式で対応する）。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。 撮影・SNS等についての注意 1．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 2．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関連した学生全員について、試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など
学生へのメッセージ/Message for students	授業開始前までに、医学・精神保健情報の検索方法などについて習熟しておくこと
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	永江誠治（第1-5回、第10-15回）／精神科看護師として実務経験に基づき、精神健康と社会生活との関連を具体的にイメージできるような視覚教材を用いながら、学生それぞれの考えや価値判断を討論できるようグループワークを中心とした課題に取り組ませる 岳こなみ（第6-9回）／精神科看護師として実務経験に基づき、精神健康と社会生活との関連を具体的にイメージできるような視覚教材を用いながら、学生それぞれの考えや価値判断を討論できるようグループワークを中心とした課題に取り組ませる
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（10/4）永江	オリエンテーション【対面】：本科目の進め方、グループワークの導入
第2回（10/11）永江	認知症【対面】：事前学習の共有、認知症がテーマのDVDを視聴
第3回（10/11）永江	認知症【対面】：認知症がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第4回（10/18）永江	発達障害【対面】：事前学習の共有、発達障害がテーマのDVDを視聴
第5回（10/18）永江	発達障害【対面】：発達障害がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第6回（10/25）岳	うつ病【対面】：事前学習の共有、うつ病がテーマのDVDを視聴
第7回（10/25）岳	うつ病【対面】：うつ病がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第8回（11/1）岳	依存症【対面】：薬物依存症の当事者の話（45-50分）、ギャンブル依存症の当事者の話（45-50分）
第9回（11/1）岳	依存症【対面】：アルコール依存症の当事者の話（45-50分）、社会との関連について討論
第10回（11/8）永江	災害と心のケア【対面】：事前学習の共有、災害と心のケアの体験を聞く（担当教員を復職予定の講師に変更する可能性があります）
第11回（11/8）永江	災害と心のケア【対面】：災害と心のケアの体験を聞く、社会との関連について討論（担当教員を復職予定の講師に変更する可能性があります）
第12回（11/15）永江	児童虐待【対面】：事前学習の共有、児童虐待がテーマのDVDを視聴
第13回（11/15）永江	児童虐待【対面】：児童虐待がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第14回（11/22）永江	発表会【対面】：発表テーマの決定、発表の準備（PowerPointにて作成）
第15回（11/22）永江	発表会【対面】：発表会

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586028501	科目番号 / Course code	05860285
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15171_005		
授業科目名 / Course title	●B9人の健康について / Human Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	折口 智樹 / Origuti Tomoki, 澤井 照光 / Sawai Terumitsu, 田中 貴子 / Tanaka Takako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	折口 智樹 / Origuti Tomoki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	折口 智樹 / Origuti Tomoki, 澤井 照光 / Sawai Terumitsu, 田中 貴子 / Tanaka Takako		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	origuchi▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	折口/医学部保健学科2階、澤井/同5階、田中/同3階		
担当教員TEL/Tel	折口/095-819-7921, 澤井/095-819-7990, 田中/095-819-7967		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日13時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人の健康ならびに健康問題に関する最新情報を収集し、理解する。 医学と環境・工学・情報科学・歯学との関連について検討する。		
授業到達目標/Course goals	健康の概念と健康問題、医療機器の進歩について説明できるようになる。 自主的に学習し、知り得た知識を説明するスキルを習得できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	< 成績評価の方法 > 発表、提出物、試験、授業への貢献度を総合的に評価する。60%以上の出席を必須とする。 各担当者の講義時間数によって点数を配分して評価する。最終的な評価は科目責任者が行う。 折口：演習問題50%、グループ発表25%、小テスト・感想レポート25% 澤井：授業への貢献度40%、提出物60% 田中：課題レポート80%、出席20% < 合格基準 > 長崎大学成績評価ガイドラインに沿って評価し、AA, A, B, C, Dの評語をもって表し、AA(90点以上)・A(89点~80点)・B(79点~70点)・C(69点~60点)が合格(単位認定)、D(59点以下)が不合格とする。 < 成績発表の方法 > ・成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、LACS等で連絡し、学務情報システム「Nu-Web」より各自で確認できる。 ・成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができる。 ・詳細な成績を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用し、個別に対応する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 特に指定しない。 復習 講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、理解を確実にするよう努めること。（2h） プレゼンテーションはグループごとに共同して準備すること。（2h）	
キーワード/Keywords	人、健康、健康問題、医療機器、環境	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に定めない。 スライドなどを使用して講義を進める。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	健康ならびに健康問題に関心のある学生、共同して学習することに関心のある学生。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考/Remarks	授業は対面式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーション(発表)をする方法を学んでおく。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	担当教員は大学病院で内科医、外科医、理学療法士として診療に携わっており、最新の健康や病気に関する内容を提供する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	人の健康について概論（担当：折口） 講義：対面式	F
第2回	生活習慣・運動と健康について（担当：折口） プレゼンテーションの説明：対面式	F
第3回	生活習慣と健康について1（担当：折口） 講義：対面式	A
第4回	生活習慣と健康について2（担当：折口） DVD鑑賞と医療機器のデモンストレーション：対面式	C
第5回	運動と健康について1（担当：折口） 講義：対面式	A
第6回	運動と健康について2（担当：折口） DVD鑑賞と医療機器のデモンストレーション：対面式	C
第7回	生活習慣・運動と健康について（担当：折口） プレゼンテーション：対面式	B
第8回	生活習慣・運動と健康について（担当：折口） プレゼンテーション：対面式	B
第9回	がんと健康について1（担当：澤井） 対面式	A
第10回	がんと健康について2（担当：澤井） 対面式	A
第11回	がんと健康について3（担当：澤井） 対面式	A
第12回	公害と呼吸器と健康について1（担当：田中） 対面式	A
第13回	公害と呼吸器と健康について2（担当：田中） 対面式	F
第14回	公害と呼吸器と健康について3（担当：田中） 対面式	F
第15回	生活習慣・運動と健康について（担当：折口） 小テストとレポート：対面式	C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586001301	科目番号 / Course code	05860013
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11711_005		
授業科目名 / Course title	●B10ヒトの生物学 / Life Science of Humans and Living Organisms		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 片瀬 直樹 / KATASE Naoki, 森石 武史 / MORIISHI Takeshi, 松下 祐樹 / Matsushita Yuki, 井 隆司 / I Takashi, 永野 健一 / NAGANO Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 片瀬 直樹 / KATASE Naoki, 森石 武史 / MORIISHI Takeshi, 松下 祐樹 / Matsushita Yuki, 井 隆司 / I Takashi, 永野 健一 / NAGANO Kenichi		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	森石: moriishi▲nagasaki-u.ac.jp 松下: yukimatsushita▲nagasaki-u.ac.jp 井: i-takashi▲nagasaki-u.ac.jp 住田: y-sumita▲nagasaki-u.ac.jp 永野: k-nagano▲nagasaki-u.ac.jp 片瀬: katase▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に書き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	森石・松下: 医歯薬学総合研究科細胞生物学分野 井・住田: 医歯薬学総合研究科先進口腔医療開発学分野 永野・片瀬: 医歯薬学総合研究科口腔病理学分野		
担当教員TEL/Tel	住田吉慶: 095-819-7706		
担当教員オフィスアワー/Office hours	住田吉慶: 毎週火曜日13時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発生学・組織学・細胞生物学・免疫学・病理学の観点から、生物としてのヒトを理解するための基礎知識の獲得を目指す。ヒトの各器官・組織の正常な発生過程と構造(発生・組織学)、生命現象の基本単位である細胞の構造と働き(細胞生物学)、組織の修復と免疫(免疫学)、運動器官の働きとその異常、細胞の老化と加齢変化(病理学)を概説する。		
授業到達目標/Course goals	ヒトの発生過程と組織構造の概略を説明できる。 細胞の構造と活動の概略を説明できる。 組織の修復過程、その際の免疫学的反応の概略を説明できる。 運動器官の働きの概略を説明できる。 細胞の老化と組織の加齢変化を説明できる。 必要な科学情報を検索し、まとめることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(90点)、出席を含めた授業への取り組み(10点)(合計100点のうち60点以上を合格とする)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 担当教員による事前資がある場合は、予め学習してきてください(2h) 復習: 授業資料を復習し、理解を深めるように努めてください(2h)		
キーワード/Keywords	遺伝子、タンパク質、細胞、個体発生、遺伝子調節、骨、神経、老化、免疫、幹細胞		
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員が配布する資料を使用します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	定期試験の受験には2/3以上の出席を必須とする		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施しますが、オンライン形式にて実施することもありますので、その際は事前に周知します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	住田 吉慶 / 名古屋大学医学部附属病院と長崎大学病院での口腔外科診療の実務経験 / 口腔外科診療の実務経験を踏まえ、組織の基本構造とその恒常性維持機構に関する講義を行う。 松下 祐樹 / 長崎大学病院での口腔外科診療の実務経験 / 口腔外科診療の実務経験を踏まえ、組織や細胞の基本構造や機能に関する講義を行う。 永野 健一 / 長崎大学病院での病理診断実務経験 / 長崎大学病院での病理診断業務経験を元に、運動器官の構造・機能とその異常に関する講義を行う。 片瀬 直樹 / 長崎大学病院での病理診断実務経験 / 長崎大学病院での病理診断業務経験を元に、細胞の老化と組織の加齢変化に関する講義を行う。 井 隆司 / 長崎大学病院での口腔外科診療の実務経験 / 口腔外科診療の実務経験を踏まえ、組織の基本構造と組織幹・前駆細胞に関する講義を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10/3 (1-2校時)	第1回 イントロダクション・生命のはじまり（森石武史）（対面） 第2回 からだをつくるメカニズム（森石武史）（対面）
10/10 (1-2校時)	第3回 器官をつくるための基本構造（森石武史）（対面） 第4回 器官の構造（森石武史）（対面）
10/17 (1-2校時)	第5回 細胞のつくりと調節機構（松下祐樹）（対面） 第6回 細胞の機能・幹細胞（松下祐樹）（対面）
10/24 (1-2校時)	第7回 組織とは / 造血組織（井隆司）（対面） 第8回 細胞の老化と組織の加齢変化（片瀬直樹）（対面）
10/31 (1-2校時)	第9回 組織の恒常性維持（住田吉慶）（対面） 第10回 組織修復における免疫細胞と幹細胞の役割（住田吉慶）（対面）
11/7 (1-2校時)	第11回 ヒトを支える器官とその異常（永野健一）（対面） 第12回 ヒトを支える器官とその異常（永野健一）（対面）
11/14 (1-2校時)	第13回 組織ごとの組織幹細胞や前駆細胞（井隆司）（対面） 第14回 組織幹細胞や前駆細胞の医療への応用（井隆司）（対面）
11/21 (1-2校時)	第15回 まとめ（住田吉慶）（対面） 第16回 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586002101	科目番号 / Course code	05860021
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11731_005		
授業科目名 / Course title	●B10ストレスと健康 / Stress and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki, 内藤 真理子 / Naito Mariko, 佐藤 啓子 / SATO Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki, 内藤 真理子 / Naito Mariko, 佐藤 啓子 / SATO Keiko		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学・情報データ・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tsuta@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	歯学部、歯科薬理学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7652		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生体とストレスについて学ぶ		
授業到達目標/Course goals	生体とストレスについて理解する		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☒ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 全員に1回プレゼンテーションしてもらいます ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席とプレゼンテーションとレポートで評価する 出席15%、プレゼンテーション10%、課題レポート(3題)25%X3=75%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	90分の授業15回と2時間ずつの事前事後の学修を含んでいます。プレゼンテーションの準備として事前(2時間)、レポートの記載として事後(2時間)の準備を期待します。		
キーワード/Keywords	生体とストレス		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	2/3以上の出席に満たない場合は失格となります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	なし		
学生へのメッセージ/Message for students	出席、プレゼンテーション、課題レポート(3題)をきちんと行ってください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	N	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1	生体とストレス (総論 : 講義) 【筑波 隆幸 : 対面】	A E
2	薬物とストレス (講義) 【筑波 隆幸 : 対面】	A E
3	学生発表1 【筑波 隆幸 : 対面】	A E
4	学生発表2【筑波 隆幸 : 対面】	A E
5	老化とストレス (講義) 【筑波 隆幸 : 対面】	A E
6	ストレスと感染症1 (講義) 【内藤 真理子 : 対面】	A E
7	学生発表3【内藤 真理子 : 対面】	A E
8	学生発表4【内藤 真理子 : 対面】	A E
9	ストレスと感染症2 (講義) 【内藤 真理子 : 対面】	A E
10	ストレスと感染症3 (講義) 【内藤 真理子 : 対面】	A E
11	中枢とストレス (講義) 【佐藤啓子 : 対面】	A E
12	ストレスとホルモン (講義) 【佐藤啓子 : 対面】	A E
13	学生発表5【佐藤啓子 : 対面】	A E
14	学生発表6【佐藤啓子 : 対面】	A E
15	生体でのとストレス (講義) 【佐藤啓子 : 対面】	A E

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592003701	科目番号 / Course code	05920037
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B11対人関係を考える / Workshops on Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育開発推進機構アドミッションセンター		
担当教員TEL/Tel	2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「文化と対人関係」のモジュール科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成を目指します。 他者や社会を理解する科目ですが、これらを理解するためにはまず自分を知ることが大切です。そのために、最初に自己の感情や思考についての理解を深め、その後他者や社会について理解を深めていきます。 この科目では、最初に理論を学び、その後理論を用いたワーク、グループ・ディスカッション等を行います。自己と他者の基礎的知識を理解し実践によって定着することで、皆さんの社会生活が豊かになることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	(1)自己および他者についての基礎的な知識を得ることができる (2)自分の気持ちや考えを整理することができる (3)自分の気持ちや考えを他者に表現することができる (4)自分の考えと異なる他者の考えを理解できる (5)思わぬ事態が起こった際に客観的に考えようとするすることができる (6)社会や環境への意識を高めることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、課題(70%)およびリフレクションペーパー(30%)の評価で行います。リフレクションペーパーは出席も兼ねています。 また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。 ・出席は8回以上 ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 (課題については、期限外の提出は認めません)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークを行っています。学修を深めるために復習を行い（１h）、それを元にしたレポートの提出を求めます（３h）。
キーワード/Keywords	論理的思考、批判的思考、ディスカッション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。 対面で実施予定。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では、理論の理解を元に自己および他者との関わりを実践的に行います。そのため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第１回	イントロダクション【対面】
第２回	自分自身を知る【対面】
第３回	自己とは何か（１）【対面】
第４回	自己とは何か（２）【対面】
第５回	自己と他者（１）ステレオタイプ、対人認知【対面】
第６回	自己と他者（２）【対面】
第７回	自己と他者（３）【対面】
第８回	自己と他者（４）【対面】
第９回	自己と社会（１）集団規範、社会的ジレンマ【対面】
第１０回	自己と社会（２）【対面】
第１１回	自己と社会（３）【対面】
第１２回	自己と社会（４）【対面】
第１３回	自己と環境（１）【対面】
第１４回	自己と環境（２）【対面】
第１５回	まとめと振り返り【対面】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592003901	科目番号 / Course code	05920039
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B11人間関係の社会学 / Sociology of Human Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指します。 私達はこの世に生まれてから死ぬまで、直接的にせよ間接的にせよ、必ず誰かとの関係の中で生きています。その中には親、きょうだい、親戚、友人、恋人や、学校や職場などで出逢う人々、そしてまた直接は出会わない赤の他人も含まれます。 この授業では、成長するにしたがって広がっていく人間関係の中で身についていく考え方・ふるまい・関係性について理解を深めること、そしてまた、自分自身の経験についてふりかえり、これまで対人関係の中で受けてきた様々な影響や、今後めぐりあう人間関係について客観的・分析的に考える力を身につけることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる ・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べるることができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わるることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワーク及び課題の得点総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1) 全体の2/3以上の出席及び、(2) ワークと課題を全体の2/3以上提出していること(3) 最終グループプレゼンテーションに参加していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください) 本科目では、最終試験は実施しません。その代わり、授業回数が16回ありますので注意してください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回動画を見て、いくつかのミニワーク（課題）を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は必ず予習動画を見てワークを提出したうえで臨むこと。（4h）
キーワード/Keywords	社会化、ジェンダー、文化、スクールカースト、文化階層、文化的再生産
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。 また、主な参考書は以下の通りです。 ビエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店 ビエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店 恒吉僚子(1992)『人間形成の日米比較－かくれたカリキュラム』中央公論社（中公新書） 木村涼子（1999）『学校文化とジェンダー』勁草書房 ポール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店（ちくま学芸文庫） アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容－近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 アーヴィング・ゴッフマン(1980)『集まりの構造－新しい日常行動論を求めて』誠信書房
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点での入室を断る場合があります。（その時間の出席は認めません）授業開始時間には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻・欠席をしないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻・欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。 対面授業の予定。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・社会化とは何か（１）【対面】
第2回	社会化とは何か（２）【対面】
第3回	家族（１）【対面】
第4回	家族（２）【対面】
第5回	学校と友だち（１）【対面】
第6回	学校と友だち（２）【対面】
第7回	恋愛・結婚（１）【対面】
第8回	恋愛・結婚（２）【対面】
第9回	他人とのかかわり（１）【対面】
第10回	他人とのかかわり（２）&グループプレゼンテーションにむけて【対面】
第11回	グループプレゼンテーション準備ワーク【対面】
第12回	グループプレゼンテーション準備ワーク【対面】
第13回	グループプレゼンテーション（１）【対面】
第14回	グループプレゼンテーション（２）【対面】
第15回	グループプレゼンテーション（３）【対面】
第16回	グループプレゼンテーション（４）および授業まとめ【対面】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592004101	科目番号 / Course code	05920041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B12異文化接触とコミュニケーション / Cross-Cultural Contact and Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟2階研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日13時-14時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入国制限のため、日本や長崎に来る外国人の数は、2019年から2020年にかけて急激に減少しました。しかし、2022年に入国規制が緩和されて以降、外国人労働者、留学生、外国人観光客の数は以前のような数に戻りつつあります。きっと、みなさんが街や長崎大学のキャンパスで外国人に会う機会も今後徐々に増えていくことでしょう。 この講義では、まず、"やさしい日本語"について学びます。そして、自分が普段使っている日本語やコミュニケーションの仕方について振り返ります。最終的に、日本人と外国人が共に暮らすために必要なもの・ことについて仲間といっしょに考えます。		
授業到達目標 / Course goals	a. 長崎大学や長崎県、日本にいる外国人の背景や受入に関する課題がおおまかに説明できる(1, 11) b. "やさしい"日本語を使って、外国人留学生とコミュニケーションができる(10) c. 自分が普段話したり書いたりする日本語や、自分のコミュニケーションの仕方について客観的に捉えることができる(5, 8, 11) d. 日本人と外国人が共に暮らすために必要な(または大切な)もの・ことについて提案できる(2, 11) e. グループワークにおいて、仲間と協力しながら自分の役割を果たすことができる(9)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出期限を過ぎた宿題は受けとらない。 授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は「不合格（D）」とする。 以下、合計100点のうち60点以上を合格とする。 (1) 授業への取り組み（積極的な参加）【5点】 (2) やさしい日本語クイズ【15点】 (3) プレゼンテーション2回【5点 + 40点 = 45点】 (4) レポート2回【20点 + 5点 = 25点】 (5) PBL学習計画【2.5点】 (6) PBL個別学習サマリー【5点】 (7) PBL振り返り記録【2.5点】	
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】シラバスや「学習者ガイド」を見て次の授業の流れを把握する。そして、必要な作業を済ませる。（1h） 【事後】グループワークの中で自分が担った作業や、与えられた課題を決められた時間までに済ませる。授業で扱った話題に関連する情報をインターネットや新聞で調べる。自分が住んでいる街、自分の身の回りにある物、自分や周りの人が話す日本語を、授業で習ったことと関連付けながら観察する。（3h）	
キーワード/Keywords	日本語、コミュニケーション、"やさしい"、文化、社会、変容、長崎	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考/Remarks	対面授業（数回のリアルタイムオンライン含む）の予定。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回（1校時）	・オリエンテーション ・在留外国人と訪日外国人 対面授業	F
第2回（2校時）	・"やさしい"日本語 ・ユニバーサル・コミュニケーション 対面授業	A C
第3回（1校時）	・「長崎にいる外国人について知る」調査についての説明と計画 リアルタイムオンライン（Zoom）の予定	A B C D
第4回（2校時）	・調査の実施 リアルタイムオンライン（Zoom）の予定	A B D
第5回（1校時）	・調査結果のまとめと分析 対面授業	A B D
第6回（2校時）	・成果発表 対面授業	A B D
第7回（1校時）	・PBL（Problem Based Learning）についての説明 ・シナリオを読む（Step1） ・キーワードの抽出（Step2） 対面授業	A B D

第8回（2校時）	・問題提示（Step3） ・問題の位置付け（Step4） ・学習の計画（Step5） ・中間発表の準備 対面授業	A B D
第9回（1校時）	・中間発表 ・グループ別学習（Step6） 対面授業	A B D
第10回（2校時）	・グループ別学習（Step6） 対面授業	A B D
第11回（1校時）	・グループ別学習（Step6） 対面授業	A B D
第12回（2校時）	・学習成果の共有（Step7） ・学習成果の整理と発表準備（Step8） 対面授業	B D
第13回（2校時）	・学習成果の整理と発表準備（Step8） 対面授業	B D
第14回（1校時）	・成果発表 対面授業	A B D
第15回（2校時）	・成果発表 対面授業	A B D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592004301	科目番号 / Course code	05920043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B12国際協力と開発援助 / International Cooperation and Development Assistance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	遠山 峰司 / Takashi Toyama		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	遠山 峰司 / Takashi Toyama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	遠山 峰司 / Takashi Toyama		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toyama.takashi▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室 Room 507, 5th floor, Global Health Research Building, Graduate School of Tropical Medicine and Global Health, Sakamoto Campus		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通) 095-819-7895 (Direct)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで * 10時から16時まで * 面談予約や質問はtoyama.takashi▲nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。 10:00 a.m. to 4:00 p.m. Monday through Friday Please make an appointment or send questions to toyama.takashi▲nagasaki-u.ac.jp with the name of the department and your name in the subject line.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今日、新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの組織、一つ分野、一つの国では対処困難な課題が山積しています。課題解決に向けて他者や他国と協力して取り組むことが求められるこの世界で、より厳しい立場に置かれている開発途上国とその人々―世界の人口80億人の8割を占めています - の暮らしについて考えることは今日の我々にとって極めて重要です。では、開発途上国はどのような課題を抱えているのでしょうか。その原因は何に求められるのでしょうか。国際社会は開発途上国に対して何に、どのように協力をしているのでしょうか。そして、そのような協力はどのような動機に基づくものなのでしょうか。 本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、実例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになることを目指します。 Today, the threat of infectious diseases such as the new coronavirus, poverty, conflict and humanitarian crises, economic recession, and environmental pollution transcend national borders, and the world is riddled with challenges that are difficult for one organization, one sector, or one country to solve. In a world where we must work together with others and other countries to solve problems, it is vital for us today to consider the lives of the developing countries and their people, who are in a more difficult position - 80% of the world's population of 8 billion people. What are the challenges facing developing countries? What are the causes? What is the international community doing to help developing countries, and how? And what are the motivations for such cooperation? This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to		

授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、実例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明出来るようになる。 This course aims to provide students with a basic knowledge of the concept, history, mechanism, and examples of development assistance in international cooperation, and to enable them to explain "your ideas" about international cooperation with developing
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 100点 総合点(100点) 60点以上を合格とします。 Assignment: 100 points Total score (100 points): 60 points or more is considered passing.
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。（2h） 事後：講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点あれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。（2h） Prior to the lesson: Review the syllabus and lecture materials to understand the flow of the next class. Look up unfamiliar terms and questions. Prepare questions, etc. (2h) After the lesson: Review the lecture content, lecture materials, and references. If there are any questions, check them with the instructor. If there are assignments, work on them and submit them in the assigned class. Students will review and summarize their own ideas on development assistance. (2h)
キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携 SDGs, international cooperation, development assistance, Official Development Assistance (ODA), United Nations, World Bank, WHO, UNICEF, JICA, poverty, refugees, gender, education, health, economy, environment, Asia, Africa, Middle East, Europe, Latin America, international politics, nationalism, diversity, volunteer, private partnership
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等を紹介します。 【全般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能 No textbook. Reference books will be introduced in class. General Reference Materials: - White Paper on Development Cooperation Japan's International Cooperation Downloadable from the website of the Ministry of Foreign Affairs of Japan - Annual Report of Japan International Cooperation Agency Downloadable from the JICA website

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業中に発言すること。本科目の授業では受講生に意見や質問を求めます。授業中に意見を述べたり、質問することは自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生が共に学ぶ貴重な機会です。 Speaking up in class. In this course, students are encouraged to express their opinions and ask questions. Expressing opinions and asking questions in class is a valuable opportunity to refine your own ideas, resolve questions, listen to the ideas of others, and learn together with other students.
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-
備考/Remarks	1. 授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。写真や動画、国際協力の実例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を行います。 2. 授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。対面を基本とし、必要に応じてオンライン（多くても数回程度を想定）を切り替えます。 3. 授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告をします。LACSには講義資料を掲示します。 4. 意見や質問：意見や質問を歓迎します。 5. 授業の進行：受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの都合により、授業内容の順を変更する可能性があります。 6. 課題：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。 1. Characteristics of the class: The lectures are based on theory and practice (actual practice) utilizing the practical experience of the instructor in charge. The classes are taught in real-life situations through photos, videos, and examples of international cooperation, as well as by guest speakers. 2. Class format: Lectures are given by the instructor and guest speakers. To be delivered face to face, switching to online (assuming a few times at most) if necessary. 3. Class flow: The class begins with a review of the previous class and presentation of learning objectives, followed by the lecture (including Q&A), and ends with a recap of the main points and positioning of the class, as well as a notice for the next class. 4. Comments and questions: Comments and questions are welcome. 5. Class progression: The order of class content is subject to change depending on the number of students, progress, and availability of guest speakers. 6. Assignments: Any plagiarism or malpractice will result in a zero grade.
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとしたら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。 Please take the course if you find any part of the syllabus that sounds interesting to you. I welcome your attendance.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	遠山 峰司 約30年にわたり独立行政法人国際協力機構(JICA)の職員として海外と国内双方の様々な開発協力事業(技術協力、有償資金協力、無償資金協力、市民参加協力等)に従事。これまでの海外駐在先はフィジー(2000年から2004年)とパプアニューギニア(2016年から2020年)で、地域的には大洋州が専門地域といえる(出張先は全世界約40か国)。国内と海外での実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 For about 30 years he has been engaged in development cooperation practice as a staff of the Japan International Cooperation Agency (JICA), the implementing agency of the Japanese Official Development Assistance (ODA). He has been in charge of project formulation and management etc. mainly in the field of fisheries and agriculture and been specifically familiar with JICA operation in the Pacific. He has experiences of having worked for JICA Fiji office (2000-2004) and JICA Papua New Guinea office (2016-2020) and he visited about 40 countries all over the world. / He will conduct this class with his
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(1校時) / 1	授業の紹介【対面】 開発途上国の課題【対面】 Introduction to the course 【In person】 What are the characteristics of development issues? 【In person】
第2回(2校時) / 2	開発途上国の課題【対面】 What are the characteristics of development issues? 【In person】
第3回(1校時) / 3	国際協力と開発援助の基本用語【対面】 What is poverty, development, and developing country? 【In person】
第4回(2校時) / 4	国際協力と開発援助の基本用語【対面】 開発援助のアクター【対面】 What is poverty, development, and developing country? 【In person】 What are aid actors? 【In person】
第5回(1校時) / 5	日本の政府開発援助の仕組みと実例【対面】 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance? 【In person】
第6回(2校時) / 6	日本の政府開発援助の仕組みと実例【対面】 What are the policy, administrative, and operational frameworks of Japan's official development assistance? 【In person】
第7回(1校時) / 7	開発援助の歴史【対面】 What is the history of international development? 【In person】
第8回(2校時) / 8	開発援助の歴史【対面】 What is the history of international development? 【In person】
第9回(1校時) / 9	援助する理由【対面】 Why giving aid? 【In person】
第10回(2校時) / 10	国際協力に参加する【対面】 How can I participate in development cooperation? 【In person】
第11回(1校時) / 11	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker 【In person】
第12回(2校時) / 12	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker 【In person】
第13回(1校時) / 13	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker 【In person】
第14回(2校時) / 14	ゲストスピーカー【対面】 Guest speaker 【In person】
第15回(1校時) / 15	開発援助の今後、総括【対面】 Future of development assistance and summary 【In person】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586007401	科目番号 / Course code	05860074
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14151_005		
授業科目名 / Course title	●B13暮らしの中の化学 / Chemistry in Our Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 海 / Kamada Kai, 瓜田 幸幾 / Urita Koki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 海 / Kamada Kai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 海 / Kamada Kai, 瓜田 幸幾 / Urita Koki		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鎌田: kkmada▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 瓜田: urita▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	鎌田: 総合教育研究棟6階606号室 瓜田: 総合教育研究棟 8 階802号室		
担当教員TEL/Tel	鎌田: 095-819-2657 瓜田: 095-819-2668		
担当教員オフィスアワー/Office hours	あらかじめメール等でアポイントしてください。都合調整します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	化学物質の性質がその機能の中核を担う身の回りの製品や機器に注目し、どのような分子・化合物(化学物質)によって構成されているのか、どのような性質が重視されてそれらの製品に採用されているのか化学的視点から学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	皆さんが普段の生活で利用しているエネルギー関連の設備・機器について、どのような化学物質あるいはそれらが起こす化学反応が使われ、その化学物質が示すどのような性質が重要であるのか理解できる。特に、パッケージされた製品全体ではなく、その機能の根幹をなす心臓部で使われる化学物質に着目し、物理的・化学的性質と機能性の関係を説明できるようになる。本講義では具体的に下記のトピックに関してその化学的思考に立った機構原理を説明できる。 (1) ガスセンサ(ガス漏れ警報器、ヘルスケアセンサ) (2) 原子力発電(核反応) (3) 太陽光関連技術(光触媒) (4) 蓄電デバイス(リチウムイオン二次電池、電気二重層キャパシタ) (5) 吸着材 (6) 炭素材料(ナノカーボン)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義内容に関連した課題レポートおよび演習問題の解答状況で評価する。また、講義への積極的参加状況を加味して評価する。 レポート・課題: 80%、積極的参加状況: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：次のテーマについて調べ、使用される化学物質名やその性質について調べる。(2h) 事後学習：講義ノートを整理するとともに、講義中の配布資料などの演習問題を解き、講義内容の理解に努める。(2h)
キーワード/Keywords	化学物質、電気的性質、化学反応、エネルギー変換、表面化学
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて各トピックに沿ったプリントを配布するか適当な教科書を紹介する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし。ただし、化学や化学現象について興味があると、講義に馴染みやすいと思われる。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	全回対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	講義内容および周辺分野について書籍・新聞やインターネットの情報に興味を持って触れることにより、理解を深めるようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週(1, 2回目)	講義概要、進め方、評価について説明する。講義進度によっては各週に予定した内容が前後にずれる場合がある。 トピック1-1: ガスセンサ(ガス漏れ警報器)【鎌田: 対面】 身の回りにガスセンサにはどのような種類があるのか把握できる。ガスセンサに使われる物質を知り、駆動原理を説明できる。
第2週(3, 4回目)	トピック1-2: ガスセンサ(ヘルスケアセンサ)【鎌田: 対面】 ウェアラブルデバイスへの搭載されるなど、最近普及しつつあるヘルスケアに使われるガスセンサの駆動原理を説明できる。
第3週(5, 6回目)	トピック2: 原子力発電(核反応)【鎌田: 対面】 原子力発電の概要を知り、通常の化学反応と原子力発電で使われる核反応の相違について知る。
第4週(7, 8回目)	トピック3: 太陽光関連技術(光触媒)【鎌田: 対面】 太陽電池は光エネルギーを電力に変換する技術であるが、太陽からの光エネルギーを化学エネルギーに変換する比較的新しい技術である光触媒の原理と利用法について説明できる。
第5週(9, 10回目)	トピック4-1: 蓄電デバイス(リチウムイオン二次電池)【瓜田: 対面】 蓄電デバイスの中で携帯電話やパソコンに内蔵されているリチウムイオン二次電池について原理を説明できる。
第6週(11, 12回目)	トピック4-2: 蓄電デバイス(電気二重層キャパシタ)【瓜田: 対面】 二次電池とキャパシタの作動原理の違いを説明できる。
第7週(13, 14回目)	トピック5: 吸着材(分子の吸着現象)【瓜田: 対面】 身近にある吸着材料がどのような機構で物を吸着するのか、吸着原理を説明できる。
第8週(15, 16回目)	トピック6: 炭素材料(ナノカーボン)【瓜田: 対面】 鉛筆の芯からダイヤモンドまで様々な形態をとる炭素材料の中でナノカーボンについて理解を深める。

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586024101	科目番号 / Course code	05860241
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14141_005		
授業科目名 / Course title	● B13暮らしの中の物理 / Physics Applications in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 矢澤 孝哲 / Yazawa Takanori, 才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 矢澤 孝哲 / Yazawa Takanori, 才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki ▲ nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください) yazawa ▲ nagasaki-u.ac.jp s-aki ▲ nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階ME-D301(東側)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528 (桃木) 095-819-2550 (矢澤) 095-819-2492 (才本)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日17時以降およびメールでの対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	力学およびエネルギーに関係のある身近な現象に焦点を当て、物理学の基本概念を理解し、さらに現象の数式による関係を理解し、数式を用いた自然現象の理解と利用への取り組みができるようにする。		
授業到達目標/Course goals	物理学の基本概念から身近な自然現象が説明でき、数学的な記述とその解法を図ることができる。(DP-)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への積極的な参加状況(40点)と最終レポート(60点)で評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習・復習は欠かさず行うようにして下さい。前週に次週の講義の概要を説明し、予習のポイントを話します。授業終了時には復習のポイントを話して、次週の授業につなげるようにします。(各2h)		
キーワード/Keywords	翼理論, 人工知能, 光学, 相対性理論, 量子力学		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料を配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は原則として対面で実施するが、状況によってオンライン(オンデマンド方式)も交えて実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	身近な工業製品を通して物理を理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	全体の概要，流体力学：コアンダ効果の実験と解説（圧力，作用反作用） 【桃木：対面】
第2回	流体力学：マグナス効果の実験と解説（揚力，自由渦強制渦） 【桃木：対面】
第3回	エンジン概論：ガスタービンの分類のシステム 【桃木：対面】
第4回	エンジン概論：ハイブリッドエンジンシステム 【桃木：対面】
第5回	コンピュータ：数値流体力学 【桃木：対面】
第6回	コンピュータ：人工知能とその応用 【桃木：対面】
第7回	光学・電子機器：結像光学とそれを利用した機器 【矢澤：対面】
第8回	光学・電子機器：身の回りで使用されているセンサとその原理 【矢澤：対面】
第9回	製造と安全：製造・検査のための物理現象 【矢澤：対面】
第10回	製造と安全：事故の原因と物理現象 【矢澤：対面】
第11回	ガリレオの相対性原理とニュートン力学の歴史 【才本：対面】
第12回	相対性理論の基礎（時空，光速一定の原理と相対性原理から導かれる結論） 【才本：対面】
第13回	相対性理論の基礎（相対論的速度の合成、ドップラー効果、エネルギーと質量の等価性） 【才本：対面】
第14回	量子論の基礎（波動方程式とSchrodinger方程式） 【才本：対面】
第15回	自然エネルギーとその利用 【桃木：対面】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592004501	科目番号 / Course code	05920045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●B14電気の物理とその応用 / Electrical Physics and Applications		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳井 武志 / Yanai Takeshi, 大島 多美子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳井 武志 / Yanai Takeshi, 大島 多美子		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	大島: ohshima@nagasaki-u.ac.jp 柳井: t-yanai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	大島: 工学部の2号館2F 206 柳井: 工学部の2号館3F 308		
担当教員TEL/Tel	大島: 095-819-2538 柳井: 095-819-2554		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時対応します。事前にメールで連絡して下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、電気に関連する様々な技術とそこにある物理現象を理解することを目的とする。また、これらの現象の応用について知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	1. 電気に関連する技術に関心を持つことができる。 2. 電気に関連する問題を解くことができる。 3. 電気に関連する課題を実施することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行う課題とプレゼンテーションで授業到達目標を評価する。それらの平均が60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	講義に関する資料を配布もしくは掲示するのでそれを読んで授業の準備をしておくこと(2h)。毎回の復習課題として、演習問題もしくは演習問題に相当する課題を解く(2h)。		
キーワード/Keywords	電磁気, 電気回路		
教科書・教材・参考書/Materials	今のところ使用する予定はありません		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	できるだけ、「物理」を学習した経験がある方が望ましい		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	ノートパソコンを利用します。事前にシミュレータなどのインストールを要求するので、講義開始前にLACSで確認しておいてください。
学生へのメッセージ/Message for students	電気に関連する技術の説明を演習を交えて講義する予定です。聴講学生の興味・関心に合わせて若干講義内容を変更する可能性があります。各自が関連する分野で電気に関するテーマを選択し、それに対するプレゼンテーションを実施してもらうことで、各自の分野への興味・関心を高めてもらいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス, 電気回路1【柳井:対面】
第2回	電気回路2【柳井:対面】
第3回	GUI (Graphical User Interface) 技術1【柳井:対面】
第4回	GUI (Graphical User Interface) 技術2【柳井:対面】
第5回	CAD (Computer-Aided Design) 技術1【柳井:対面】
第6回	CAD (Computer-Aided Design) 技術2【柳井:対面】
第7回	電場と磁場1【大島:対面】
第8回	電場と磁場2【大島:対面】
第9回	プラズマ・半導体技術1【大島:対面】
第10回	プラズマ・半導体技術2【大島:対面】
第11回	プレゼンテーション技法【柳井: オンデマンド】
第12回	プレゼンテーション資料作成・指導【大島: 対面 and オンライン】
第13回	プレゼンテーション1【大島・柳井: オンライン】
第14回	プレゼンテーション2【大島・柳井: オンライン】
第15回	プレゼンテーション3【大島・柳井: オンライン】
第16回	プレゼンテーション4【大島・柳井: オンライン】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240592004701	科目番号 / Course code	05920047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● B14身の回りの物質 / Materials Around Us		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hyodo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください。)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟7F西側		
担当教員TEL/Tel	095-819-2644		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜6校時(メールなどでアポイントをとること。ただし、E-mailによる質問などは、随時受け付けます。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	主に、半導体・セラミックスを中心とした身の回りの物質の基礎および応用を体系的に理解することで、今後、学んでいく専門分野の知識と融合させ、学際的視点を育む講義です。長崎の伝統工芸(特に、陶磁器(オールドセラミックス)関連)、エネルギー(電池、発電など)、電気電子デバイス(スマートフォン、パソコンなど)、IT機器、医療&ヘルスケア・環境関連装置などについて、使われている材料をベースに具体的に勉強していきます。		
授業到達目標/Course goals	私たちの身の回りに存在する半導体やセラミックスの機能や物性を理解できるようになります。また、それらが身近にどのような製品や装置に応用されているかを、主体的に認識できるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内での課題(プレゼンテーション・ディスカッション, 50点)と最終レポート(50点)で評価します。60点以上(満点:100点)を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習(2時間)】LACSで配布する資料をダウンロードして、その内容を確認してください。なお、講義中に簡単なプレゼンテーション(1~2回)をしてもらいます。その資料も作成してもらいます。 【復習(2時間)】講義の内容について十分に理解するために、資料を用いて復習してください。動画コンテンツも活用できます。自分の専門分野で活用できる内容もありますので、それらについてはより具体的に詳細な調査をすると良いでしょう。		
キーワード/Keywords	材料, 化学, セラミックス, 機能, 物性, 構造, 電気, 磁性, 誘電性, 光, 構造, 電池, 触媒, センサなど		
教科書・教材・参考書/Materials	適時, 資料をLACSを通じて配布します。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	高校レベルの物理・化学を理解していることが望ましいです。ただ、必須ではないので、気軽に受講してください。実際、高校で「物理未受講，化学基礎のみ受講」の学生さんでも，十分に講義内容を理解し，高い評価で単位修得できています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	授業は対面形式で実施しますが，状況によって変更する場合があります。その場合は，LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	材料の性質やそれらの応用に興味のある方を歓迎します。このモジュールを受講すると，「身の回りにある様々な物質にはどのような性質や機能があるのか」を具体的に理解できるようになります。また，わたしたちが日常使っている様々な家電製品やエレクトロニクスに，「物質」がどのように応用されているかを知ることができます。これらの知識は，皆さんの専門分野の勉強にはもちろんのこと，日頃の生活にも役立ちます。皆さんと，本テーマを通じて一緒に学べることを楽しみにしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	・身の回りで利用されているセラミックス・半導体：概論 ・長崎県（および佐賀県を含む肥前地区）で培われてきたオールドセラミックス：陶磁器 （授業実施方法：対面）
第2回	・半導体・セラミックスに電気が流れる仕組みとその特徴 （授業実施方法：対面）
第3回	・セラミックスの絶縁性・導電性 ・セラミックスの特殊な導電挙動 ・上述した機能を利用した応用（例：タッチパネル） （授業実施方法：対面）
第4回	・超伝導の原理 ・超伝導を応用した製品（例：MRI（磁気共鳴画像診断装置）） （授業実施方法：対面）
第5回	・機能性を持った絶縁体「誘電体」の原理 ・強誘電体・焦電体・圧電体への応用（例：メモリ（USBなど），クォーツ式時計，カーナビ・スマホ用センサ） （授業実施方法：対面）
第6回	・半導体の電気特性を利用した発光素子：発光ダイオード（LED）の原理 ・LEDの応用 （授業実施方法：対面）
第7回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?U：半導体レーザーの原理 ・半導体レーザーの応用 （授業実施方法：対面）
第8回	・半導体を利用したガス検出デバイス：ガスセンサ（例：ガス警報器，口臭チェッカー，CO2センサ） ・湿度センサ（電子レンジ・エアコンなどに内蔵） （授業実施方法：対面）
第9回	・発電デバイス：熱電素子，1次・2次電池，燃料電池 （授業実施方法：対面）
第10回	・化粧品，医療用・歯科用セラミックス （授業実施方法：対面）
第11回	・セラミックスの触媒・光触媒・抗菌作用，吸着作用 （授業実施方法：対面）
第12回	・台所で使えるセラミックス ・セラミックヒーター （授業実施方法：対面）

第13回	・人工宝石 ・セメント・石膏など構造用セラミックス ・医療・歯科用セメント (授業実施方法：対面)
第14回	・セラミックス繊維，カーボンファイバー ・光ファイバーなど光学材料 ・磁性材料 ・それらの応用製品 (授業実施方法：対面)
第15回	・めっき ・バイオセンサ ・その他 (授業実施方法：対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586008102	科目番号 / Course code	05860081
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12931_005		
授業科目名 / Course title	● B15地球温暖化を考える / Introduction to Global Warming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和達 容子 / Wadachi Yoko, 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki, 小山 光彦 / Koyama mitsuhiko, 高尾 雄二 / Takao Yuji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	和達 容子 / Wadachi Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	和達 容子 / Wadachi Yoko, 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki, 小山 光彦 / Koyama mitsuhiko, 高尾 雄二 / Takao Yuji		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tommy▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	河本(環231-2), 高尾(環323), 小山(環228), 和達(環434)		
担当教員TEL/Tel	和達 (095-819-2729)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	和達 火曜日14:30~15:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	温室効果に伴う気象および気候の変化を学ぶ。また、関連する国際条約の成立過程や内容について学び、国家間の立場の違いや国際社会への影響について考える。さらに、化石燃料の燃焼に伴い発生する大気汚染やエネルギー問題の現状、地球温暖化の生態系への影響やバイオマス利活用等について学ぶ。これらによって、地球温暖化の防止が技術的かつ国際的に複雑な問題であることを理解し、改善のための手法を提案し、予想される困難を考える。		
授業到達目標/Course goals	・地球温暖化のメカニズムや主要因を説明でき、他人と議論し意見交換ができるようになる。(1,3,4,9) ・将来および現在のエネルギー問題の概要を理解し定見交換ができるようになる。(1,5,9) ・地球温暖化の生態系への影響やバイオマス利活用等について理解できるようになる。(1,5,9) ・国際的な取り組みの概要を説明できるようになる。(1,4,5,7,10)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習も含めて授業への積極的な参加(20点)、期末試験(80点) 班による活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスに記載された各回の題材について基礎知識を得て、疑問点を整理しておく。(2h) 事後学習：扱った題材の内容、関連する専門用語・キーワードを十分に説明できるよう復習する。(2h)		
キーワード/Keywords	温室効果, 地球温暖化, 化石燃料, 炭素固定、国際交渉		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定はなし。予習時に各自で調べる。必要があれば配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	LACSを使って予習課題の確認。レポート提出などの作業があります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	原則として対面形式で実施します。状況によって変更する回もあり得ますので、その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	講義スケジュールについては第1回の講義で説明します。 班行動や宿題があります。欠席については厳しい評価をします。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（概要と進め方等の諸注意）、地球大気の諸特性（河本）対面授業
第2回	気候を決める仕組み（河本）対面授業
第3回	気候変動の要因（河本）対面授業
第4回	将来の気候（河本）対面授業
第5回	閉じた地球と化石燃料（高尾）対面授業
第6回	燃焼と大気汚染（高尾）対面授業
第7回	さまざまな発電方式の比較（高尾）対面授業
第8回	地球温暖化の生態系への影響（小山）対面授業
第9回	バイオマス利活用技術（小山）対面授業
第10回	生物による炭素固定技術（小山）対面授業
第11回	地域資源の活用による脱炭素型地域づくり（小山）対面授業
第12回	国際社会と地球温暖化問題（和達）対面授業
第13回	国際条約とその交渉（和達）対面授業
第14回	国際的取り組みを促進する要因・阻害する要因（和達）対面授業
第15回	地球温暖化対策と私たちの選択（和達）対面授業

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586008501	科目番号 / Course code	05860085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12941_005		
授業科目名 / Course title	● B15水環境を考える / Water Pollution and Purification		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	長江 真樹 / Nagae Masaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagae▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3階 環309-2 長江教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2755		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜・火曜 13時30分～16時。これ以外の時間帯もメールでの対応可(nagae▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更して送信してください))。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、我々の生活において必要不可欠な水資源の利用およびそれがもたらす水環境への影響について学ぶ。具体的には、上水および下水に関連した種々の水処理技術を習得するとともに、人間の水利利用によって水環境がどのような影響を受けるのかを理解する。また、水環境汚染度合いの判定に関する各種測定法について学ぶ。さらに、水環境の汚染が様々な水辺の生き物に与える影響や植物等を利用した水質浄化の実例について学び、水を中心にヒトを含めた様々な生き物が多様で密接な関わりを持つことを理解する。		
授業到達目標/Course goals	水環境汚染について具体的に説明できる。 上水と下水に関連した種々の水処理技術について説明できる。 水環境汚染を定量的に調べるための測定法を説明できる。 水環境汚染が水辺の生き物に与える影響について具体的に説明できる。 これらは、長崎大学のディプロマ・ポリシーのうち、以下に合致する。 ・自ら学び、考え、主張し、行動することができる。 ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。 ・地球環境と社会の多様性を理解している。 ・主体性をもって他者と協働できる。 ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行うレスポンスペーパー(理解度確認テスト：2点×15回＝30点)＋期末試験70点＝合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：講義資料の熟読・理解（2hr） 事後学習：講義内容の復習（疑問点を明らかにする等）、返却されたレスポンスペーパー（毎回行う理解度確認テスト）の復習（2hr）
キーワード/Keywords	上水、下水、水処理技術、水辺の動植物、水資源、水質汚染
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。パワーポイント資料あるいはプリント資料等を適宜配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	基本的に全回、教室での「対面講義」として実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、毎回の講義の最後に、レスポンスペーパー（理解度確認ペーパー）の提出を求めます。これら取組みも、最終的な成績評価の一部に組み込まれます。ですので、毎回欠かさず出席し、単なる「受け身」で講義を聴講するのではなく、一連の概念を系統的に理解することを求めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(講義内容説明・担当教員紹介)（対面での講義。担当：長江・仲山）
第2回	水環境汚染の実態(過去に発生した主に重金属等(鉱山採掘等)による、いわゆる「公害」として発生した水環境汚染と、都市化によって引き起こされる有機物による水環境汚染)（対面での講義。担当：長江）
第3回	水環境汚染の評価法・測定法(DO, BOD, COD, TOCの測定原理、数値の意味等について)（対面での講義。担当：長江）
第4回	下水処理-1(活性汚泥法を中心とした有機物除去+高度処理&特殊処理)（対面での講義。担当：長江）
第5回	下水処理-2(浄化槽による下水処理(浄化槽設置の背景・意味、環境への負荷等))（対面での講義。担当：長江）
第6回	上水処理-1(普通沈殿－緩速ろ過、薬品沈殿－緩速ろ過)（対面での講義。担当：長江）
第7回	上水処理-2(消毒)（対面での講義。担当：長江）
第8回	新規な水環境汚染物質（内分泌かく乱化学物質、PPCPs、ナノマテリアル）（対面での講義。担当：長江）
第9回	水辺の環境と生態系(水辺の環境が生態系に及ぼす影響)（対面での講義。担当：仲山）
第10回	水環境の自浄作用(物理的作用、化学的作用、生物的作用)（対面での講義。担当：仲山）
第11回	水環境の植生浄化(人工湿地、ビオトープなど植物を用いた水質浄化技術)（対面での講義。担当：仲山）
第12回	水質汚濁に係る環境基準と水環境健全性指標(水環境の総合的な評価)（対面での講義。担当：仲山）
第13回	人間活動と水資源枯渇問題(人間活動が要因となる水資源の枯渇問題について考える)（対面での講義。担当：仲山）
第14回	水環境問題に対する国際社会の取組み(世界の水問題に対する国際機関による取組み)（対面での講義。担当：仲山）
第15回	国際的な水ビジネス(世界的な水問題に対応する環境ビジネスの動向)（対面での講義。担当：仲山）
第16回	試験（対面。担当：長江・仲山）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586010101	科目番号 / Course code	05860101
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14711_005		
授業科目名 / Course title	● B16海の生物と多様性 / Marine Biological Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹垣 毅 / Takegaki Takeshi, 八木 光晴 / Yagi Mitsuharu, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹垣 毅 / Takegaki Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹垣 毅 / Takegaki Takeshi, 八木 光晴 / Yagi Mitsuharu, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	竹垣: takegaki@nagasaki-u.ac.jp ; 八木: yagi-m@nagasaki-u.ac.jp ; 小山 : tkoyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	竹垣・小山: 水産学部本館 2 階 八木: 水産学部本館 3 階		
担当教員TEL/Tel	竹垣(2819)、八木(2809)、小山(2832)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋生物(遺伝子資源も含む)の個体, 個体群, 群集, 生態系の視点からみた多様性について幅広い 視点から講義し, モジュール科目「海洋の生物と科学」や「生物から見た水産業」を理解するた めに必要な海洋生物科学に関する基礎知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	海洋生物の多様性(種内・種間の多様性、遺伝子の多様性および生態系の多様性)の意味とその保 全の意義について具体的に説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価: 講義への参加状況(出席、レポートなど、30%)と小テスト(3回、70%)の合計で評価する 。講義内容に関するレポートを課することがあるほか、グループ討議、口頭発表を実施する場合が あります。 評価基準: 授業到達目標が達成できていれば合格(60点)とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布したプリント資料などを参考に予習(2h)することが望ましい。講義毎に課すレポートの作成 により、講義内容の理解度を深める復習(2h)をすること。		
キーワード/Keywords	生態系、生物多様性、魚類、進化、遺伝子、サイズ学		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、プリント資料等を適宜配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。ただし、状況によっては変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	講義には毎回出席するようにして下さい。講義毎のレポート課題は必ず提出するようにして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、3名の担当教員の紹介、講義の概要についての説明、生物の大きさとスケール、アロメトリー (八木・対面)
第2回	生物の強さ：骨と骨格の強度、卵のスケーリング (八木・対面)
第3回	生物の代謝量と体サイズ、時間の意味 (八木・対面)
第4回	生物の活動性と代謝余量、移動のコスト (ランニング、ジャンプ、遊泳、飛行、自転車) (八木・対面)
第5回	サイズの生物学からみた多様性と持続性 (小テストあり) (八木・対面)
第6回	進化からみた生物多様性 (竹垣・対面)
第7回	生物の性表現 (竹垣・対面)
第8回	生物の繁殖様式の多様性 (竹垣・対面)
第9回	生物の生活史の多様性 (竹垣・対面)
第10回	生物の絶滅と保全 (小テストあり) (竹垣・対面)
第11回	生物多様性と進化 (小山・対面)
第12回	遺伝子の多様性と有性生殖 (小山・対面)
第13回	生物多様性および遺伝的多様性に関するグループ討議 (小山・対面)
第14回	生物多様性および遺伝的多様性に関する発表 (小山・対面)
第15回	遺伝子レベルにおける生物多様性の保全 (小テストあり) (小山・対面)
第16回	予備日

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240586010901	科目番号 / Course code	05860109
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14731_005		
授業科目名 / Course title	●B16海とは何か? ~ 海洋生態系の現状と課題 ~ / An Introduction to the World's Oceans Environmental Problems in Marine Ecosystems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro, 和田 実 / Wada Minoru, 近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro, 和田 実 / Wada Minoru, 近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス 科目, 全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tetu▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階A104室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は、前期に行われるモジュールII「海洋環境と保全」と連携しています。		
授業到達目標/Course goals	下記の項目など、少しでも海のことを知って、理解し、他の人に伝えられるような、知識豊かな人材になってもらうことを目標としています。 地球システムの中で、海が存在が、我々生命や地球環境の維持のために、どのように役に立っているのか、説明することができる。 海洋環境や生物の分布を決める様々な物理・化学的要因について、説明することができる。 海洋の環境・生態系と人間活動の基本的な相互作用について理解し、説明することができる。 海洋で起きている諸問題を理解し、今後の学習や社会貢献について積極的に考えることができる。 海洋研究の歴史と発展について学び、学際的アプローチの重要性を理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の姿勢、授業で課されるレポート(アンケート等を含む)、小テストで点数をつけます。配点は担当教員数で等分します。60%以上で合格としますが、レポート提出・小テスト等への解答を必須とします。期末試験はありません。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前に、参考書等に目を通しておきましょう(2h)。 講義を聞いて興味が沸いたところは、さらに参考書等で理解を深めたり、身近な人と海について議論してみましょう(2h)。 講義内容で分からない点があれば、質問を受け付けます。		
キーワード/Keywords	海洋環境、海洋資源、海洋生態系、海洋リテラシー		

教科書・教材・参考書/Materials	資料は適宜配布しますが、下記の本も参考にして自己学習をしてください。 『海洋学』（ポール・R・ピネ著：東海大学出版）5,880円 『海洋科学入門』（多田、一見、山口著：恒星社厚生閣）2,700円
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席が原則ですが、やむを得ず欠席する場合は、理由と共に教員に事前連絡をするようにしてください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	和田 実/共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ/実務経験を活かして、海洋観測調査の経験や技法を授業で写真や動画を交えて紹介し、学生が海洋の環境・生態系と人間活動の基本的な相互作用について理解し、海洋で起きている諸問題や社会貢献について積極的に考察することを目標とする。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	海の生き物の進化と多様性（１）（和田/対面） 海に住む生物の進化と多様性を理解する上で必要となる概念や、方法論について学びます。
2	海の生き物の進化と多様性（２）（和田/対面） 海に住む微生物と大型生物の進化と多様性について、学びます。
3	海の生態系の構造と機能（１）（和田/対面） 海の生態系の構造と機能について、基本概念や研究手法を学びます。
4	海の生態系の構造と機能（２）（和田/対面） 外洋、沿岸、深海など、多様な海の生態系の特徴について学びます。
5	まとめとディスカッション（和田/対面） それまでの講義で寄せられた質問やコメントを公開し、知識を整理するとともに、海の生き物を保全する意義や、持続的に利用するための方策について考えます。
6	海洋学の歴史と未来（近藤/オンライン） 海洋探検に始まる海洋学の歴史と発展について学び、海洋研究の未来を考えていきます。
7	海の資源と利用（近藤/対面） 海洋と海底に存在する様々な鉱物資源と生物資源の概要と管理制度について学んでいきます。
8	海洋における人間の存在（近藤/対面） 海洋汚染、乱獲、気候変動などの問題を通して、海洋生態系に人間が及ぼす影響を理解する。
9	海洋のCO2吸収機構とジオエンジニアリング（近藤/対面） 微量金属元素が海洋の一次生産に大きく関わっているしくみを学びながら、地球温暖化の現状と方策について考えていきます。
10	レポート課題への取り組み（近藤/対面） 第6 - 9回内容に関するレポートを作成して提出する。
11	水の惑星「地球」（滝川/オンライン） 地球上の水、特に海洋の水温、塩分、海流などの基本的な分布について学んでいきます。
12	海水の運動：波動（滝川/オンライン） 風波、潮汐、重力波など、基本的な海洋波動の特徴について学んでいきます。
13	地球自転の効果を受けた海水の運動（滝川/オンライン） 海洋渦や黒潮などと関連づけて、地衡流について学んでいきます。
14	小テスト（滝川/オンライン）
15	海流による輸送過程、まとめ（滝川/オンライン） 様々な物質を輸送する海流の役割について学び、これまでの講義をまとめます。